

令和5年度第2回袖ヶ浦市立図書館協議会

1 開催日時 令和6年2月5日（月）午後2時開会

2 開催場所 中央図書館 2階 視聴覚ホール

3 出席委員

副委員長	星野 裕司	委 員	鈴木 大介
委 員	三神 亜矢子	委 員	菊地 育子
委 員	小林 君代	委 員	石井 喜三江
委 員	武井 隆文		

欠席委員

吉村 真理子（委員長） 高橋 和子 宮越 賢子

委員長欠席のため袖ヶ浦市立図書館協議会運営規則第2条第3項により、副委員長を委員長職務代理とする。また3分の2以上の委員が出席であり、袖ヶ浦市立図書館協議会運営規則第3条第2項により本協議会は成立とする。

4 出席職員

教育長	御園 朋夫	生涯学習課長	島田 宏之
中央図書館長	塩谷 利之	長浦おかのうえ 図書館長	堀野 仁美
平川図書館長	齊藤 秀夫	中央図書館 奉仕班長	相武 麻衣子
中央図書館 庶務班長	芦田 敏宏	中央図書館 主査	上村 千恵

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	3人
傍聴人数	0人

6 議 題

（1）令和5年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況の点検・評価について（第1回）

- (2) 令和6年度図書館経営方針及び重点施策について
- (3) その他

7 報 告

- (1) 袖ヶ浦市立図書館協議会先進地視察研修について
- (2) 袖ヶ浦市電子図書館の利用状況について
- (3) 令和5年度夏・秋のトショロ月間の実施結果について
- (4) その他
 - 中央図書館及び長浦おかのうえ図書館の照明LED化について
 - 図書館窓口等運営委託について
 - 公民館の市長部局移管について

8 議 事

星野副委員長：それではまず、議題（１）令和５年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価（第１回）について、事務局から説明をお願いします。

事務局（堀野館長）：資料をもとに説明。

星野副委員長：審議に入る前に３点確認をさせてください。まず１点目「資料の置き置き期間の変更」について、その理由と効果を伺います。次に「障がい者向けの宅配サービス対象者の基準緩和について」の詳細と、「上映権付DVD」とはどういったものを指すのか説明をお願いします。

事務局（相武班長）：置き置き期間の変更については、利用者から意見が挙がったもので、今までの２週間から１週間に短縮したことで、本の回転率が上がっています。また１週間で取りに来られない利用者がいた場合、連絡をいただければ最大で２週間までの延長もしくは予約待ちの順番を後に回す等の対応を行っており、利用者からは概ね受け入れられています。

事務局（堀野館長）：続いて、図書館利用に障害がある人に向けたサービスの中の「宅配サービス」の対象者の基準緩和について、これまで図書館では来館が難しい障がい等をもった利用者に対して、本を自宅まで届ける宅配サービスを実施しています。管理運営規則内で基準が定められており、それ以外の利用者については「その他館長が認めたもの」として個別に判断を行ってきました。最近では加齢により外出が困難で、読書をしたい気持ちがあっても来館できないという方や独居の高齢者も増えており、そういった方への読書支援が手薄になっているということが現状にあります。今後更に高齢化が進む中、読書支援を進めていくにあたって、「75歳以上であること」「傷病、加齢による身体の虚弱等により自力での来館利用が困難なこと」「1人世帯、図書館開館中に代理で来館できる家族がいないこと」という３つの要件を満たすものを宅配サービスの利用対象とする基準の緩和を、暫定的に実施することとしました。実際の利用について要望があった方がいましたが、市外施設に入られることになり現時点で利用には至っておりません。

事務局（相武班長）：上映権付DVDについて、図書館では中央図書館、長浦おかのうえ図書館、平川図書館の３館でそれぞれ視聴覚資料を収集しています。媒体はDVDで、館内の視聴ブースで観ることのできる権利のついたものを購入しています。館内視聴の他、視聴覚資料活用事業として「名画鑑賞会」を実施していますが、上映権がないDVDを上映することはできませんので、購入

するDVDのうちの一部は「館内で上映できる権利」のついたものを選定しています。この上映権について中央図書館で購入したものは「袖ヶ浦市立図書館で購入したもの」として、長浦や平川で上映して良いものと解釈し、これまで名画鑑賞会を実施してきましたが、販売元より購入した館でしか上映はできないものであるとの制約が伝えられました。このことから、これまで3館でタイトルを共有していましたが、今後は上映館が限定されることになりました。

星野副委員長：ありがとうございました。それではいくつかに区切って意見等を伺っていきたいと思います。まずは資料2～4ページまでの評価方法について意見、質疑等ございますか。

意見等なし

星野副委員長：それでは5～8ページのサービス内容（1）について、ご意見を伺います。

武井委員：図書館ホームページ内に電子図書館のバナーを設置したとあるが、ホームページを探したところ、下の方の目立たない場所にありました。もっと目立つ場所の方が良いのではないのでしょうか。市のホームページからのアクセスについても検討した方が良いと考えます。

事務局（相武班長）：ご意見のありました電子図書館のバナーについては、30ページの右上にホームページの画面資料を載せています。現在図書館のホームページのトップページについては、職員に修正する権限がなく委託で実施し、その時点で最大限目立つ場所に設置をしました。来年度ホームページの更新予定があるので、その際にもっと目立つよう設置する予定です。

星野副委員長：予約資料の取り置き期間について短縮したという説明がありましたが、これについて何かご意見はございますか。

意見等なし

星野副委員長：資料の更新率について4％を達成しています。このことは大変重要なことで、良く対応されていると思います。先日伺った守谷市と比較しても貸し出し数は届きませんが、蔵書数は多くなっています。またレファレンス数も伸びており、評価したいところです。電子図書館について、年代を考慮して購入とありますが、ターゲットの年齢層やジャンル等はどのように考えていますか。何か特徴的なことがあればお伺いいたします。

事務局（相武班長）：電子図書館の現在の主な利用者層は 40～60 代となっています。まず、現在の利用者にも引き続き利用いただきたいので、その世代にも楽しんでもらえるということを年頭に置き、選書しております。また 10 代、20 代にも有用なシステムであるので、利用を促進できるよう進路関係、受験関係、10 代特有の悩み、またリアルな図書館では借りにくい性関係の本も購入するようにしています。10 代、20 代向けを 3 割くらい入れつつ、7 割で広い世代、30 代以上を魅了できるような資料の選書を心がけ、世代に偏らないよう、バランスに注意しています。ジャンルとしては（資料の 32 ページ）、利用の動向やその時のトレンドを見ながら選定していますが、特に人気なのは実用書であれば料理やダイエット、投資や資産活用の本に大変高いニーズを感じていますが、それ以外でも魅力的な本があれば購入しています。読み物に関しては、当初はライトノベルを中心に入れていましたが、利用が伸びなかったため、著名な作家の人気のある小説や、映画化やアニメ化された人気の本を取り入れています。32 ページの貸し出し回数一覧では「顎木あくみさん」という著者が 20 冊中 5 冊ランクインしています。この著者の「わたしの幸せな結婚」が映画化、アニメ化され、大変人気で常に予約待ちの状況になっています。このことからメディア化という点も選定の基準の 1 つにしています。

星野副委員長：6 ページに 471 コンテンツある電子書籍の中で、12 月末の貸し出し数が 91.8 冊となっています。この数字から 4 分の 1 は借りられているが、それ以外は読まれていない資料ということになるのでしょうか。紙の資料と比較すると格段に高い貸出率ではありますが、4 分の 3 が借りられていないという点については、どのように考えますか。

事務局（相武班長）：この数字 91.8 冊は 1 か月あたり平均した貸出冊数であり、実際にはほとんどの電子書籍は貸出されております。逆に貸し出し回数が 0 回のものはほんの一握りです。

星野副委員長：良い選書をされているということですね。

事務局（相武班長）：探し探しではありますが、厳選して購入しております。

星野副委員長：実際には袖ヶ浦市の資料にはならず、期間がくれば返してしまうものになりますが、資料が借りられているということはありがたいことだと思います。他にサービス内容（1）について、ご意見はございませんか。

鈴木委員：マイナンバーカードの利用についてですが、図書館の利用登録がオンラインでできるということは、図書館に 1 度も来館せずに、電子図書館が利用できるということでしょうか。またこれは図書館が独自で行ったのか、市全

体のマイナンバーカードの利用促進に位置づけされているものになるのでしょうか。これ以上他に手続きにマイナンバーカードを利用できるようにするような予定はあるのでしょうか。

事務局（相武班長）：市全体の電子申請の取組み促進の中で行いました。図書館は来館して受けるサービスがほとんどであり、非来館型のサービスは電子図書館など一部に限定されています。そのため電子図書館だけを利用したい、来館する予定はないという方にのみメリットがあるサービスなので、現時点ではこちらに限定しております。

事務局（塩谷館長）：マイナンバーカード連携ではありませんが、市の手続きオンライン化の一環で施設の利用申請も専用フォームを使用し、オンライン化しています。

事務局（堀野館長）：こちらも補足ですが、2019 年のシステム更新の際に図書館のシステムにマイナンバーカードを資料利用券に紐付ける仕組みを採用しています。

鈴木委員：マイナンバーカードがあれば、図書館の利用券は必要ないということでしょうか。

事務局（堀野館長）：あくまでも紐付けなので、図書館の利用券は1度作成し、連携させることでマイナンバーカードや Suica 等のみで図書館の利用ができるようになります。

星野副委員長：オンライン化への希望については利用者アンケートでも意見が多くありましたが、実際には1度も来館せずに本が借りられるということになります。サービスとしては便利ですが、施設としては使われないということでもあり、書店や Amazon 等の他サービスとの違いがなくなるような気もしています。

星野副委員長：続いて9～13 ページのサービス内容（2）について、三神委員ご意見があればお願いします。

三神委員：学校で開催した電子図書館の講座後、生徒がどの程度利用しているかは把握できていないのですが、利用している生徒からはこんな本があったらいいのというような意見は聞いています。パスワードを忘れてしまい、利用をやめてしまうこともあるようです。

武井委員：この件に限らず、パスワードを忘れてしまうことは多いと思います。利用にあたり指紋認証など取り入れると、利用のハードルが下がるのではないのでしょうか。

事務局（塩谷館長）：携帯等の指紋認証は端末そのもののログインに使用されるもので、その他のパスワード等はブラウザに記憶されるもの。各自がブラウザに記憶をする設定にすれば良いと思う。

事務局（相武班長）：パスワードを忘れた等の問い合わせの際は初期パスワードに戻す対応を行っています。お気軽にお問い合わせください。

事務局（塩谷館長）：図書館ホームページと電子図書館は別であるので、パスワードも別々に設定されていますが、それを混同してしまうこともあるようです。

石井委員：袖ヶ浦高校向けに電子図書館の使い方の講座を開催したとのことですが、一般の利用者向けにも行っているのでしょうか。

事務局（相武班長）：今までは実施していませんが、来年度以降開催できると良いと思います。図書館は Wi-Fi もなく、端末の貸し出しもできないので、通信料等負担が生じてしまいますが。

石井委員：1 回ではなかなか覚えられないので、繰り返して学べるよう複数回開催してもらえると有難いです。

星野副委員長：使い放題のプラン等でないと通信費用が心配です。Wi-Fi の設置は市として検討してもらえると良いと思います。

星野副委員長：小林委員、読み聞かせやおはなし会等で何かご意見ございますか。

小林委員：私たちは紙の絵本を読み聞かせるということを大事に行っていますので、電子図書館については特に意見はございません。新しいことも大切ですが、子どもには長年読み継がれてきた良い絵本を選んで読み聞かせるようにしていきたいと思います。

星野副委員長：今回の事業等についてはいかがでしょうか。

小林委員：子ども向けの部分は大きく変わっていないように思いますので、今

後も引き続き導いていただければと思います。

武井委員：市内でも外国人住民が増えてきています。国籍でいうと、ベトナム、フィリピン、韓国等のアジア系が多いようですが、図書館の利用者はどのようなになっているのでしょうか。

事務局（堀野館長）：国籍も含め、外国人利用者という統計の数字はもっていませんが、一定の利用はあるようです。

星野副委員長：図書館利用については、外国人であることのわかるデータはありません。以前にも申し上げましたが、多文化サービスの分野で英語資料の購入をあげるのは考え方的にどうでしょうか。英語の資料のみで多文化と言えるのか。本来は外国人住民のニーズの調査から始めるべきではないでしょうか。

鈴木委員：学校教育でみても、外国人は大変増えており、英語圏以外の方も多いです。今後も増え続けていく外国人に対するサービスの一環として、日本語の教育という面を、図書館だけでなく市全体の問題として捉え、施策として検討していくべき問題ではと考えています。

武井委員：学校や図書館、教育の枠を超えて考えていくべきだと考えます。

事務局（相武班長）：英語の本に偏ってしまうことについて、英語の本とそれ以外の言語の本での入手のしやすさが異なるという面も一因です。英語でおはなし会も人気があり、他の言語でもできれば良いですが、読み手の問題もありハードルが高いのが現状です。ブックスタートの案内は英語以外の言語でも配布を行っています。英語の本は貸出も多く、日本人が借りるケースも増えています。

事務局（堀野館長）：また外国のルーツの方や日本語が不自由な方が、日本語を習得するための補助になるような資料も選定しています。

武井委員：国際交流関係の団体と関わってみても良いと思います。

事務局（堀野館長）：国際交流関係の団体はコロナ禍で活動を自粛していました。今後再開を待って、問い合わせ等行っていきたいと考えます。

星野副委員長：14～16 ページのサービス内容（3）について意見を伺います。

菊地委員：以前からの働きかけで、開架資料も団体で貸出してもらえるように

なりました。ただ借りたあとが開架の資料か書庫の資料がわかりにくく、取り扱いに苦慮しています。また開架資料は取り扱いに気を使うので貸出しにくい、書庫の本は情報が古く状態が良くない等の問題があり、開架の本は多くは借りられないこと、また貸し出しがしにくいのが現状です。何か良い案はないでしょうか。

武井委員：今学校では授業にタブレット端末を使用しているようなので、電子図書館のような形で見ることはできないでしょうか。

菊地委員：本から情報を収集することが目的なので、それでは授業が成り立たなくなってしまう。

星野副委員長：開架の本も借りられるようになったとのことで拡大された取り組みだと思いますが。本を読む場所の指定等は難しいでしょうか。

菊地委員：それもやはり授業が成立しなくなってしまう。

鈴木委員：開架の資料は調べ学習用でしょうか。以前との比較もありますが、近隣他市と比べても袖ヶ浦市の図書費は潤沢だと考えます。また今後も予算の増額は難しく、校内の裁量、まだ今あるものをどう活用していくかというところ、新しい資料のニーズについても考えていかなければいけないと思います。

武井委員：新しい情報は有用なものです。

三神委員：当校で借りた 59 冊は全て絵本で、おはなし会で使う読み聞かせ用に選んでもらい、お借りしたものです。

星野副委員長：他にご意見ないでしょうか。ボランティア等についてはなにかございせんか。

鈴木委員：読み聞かせ等でおはなし会ボランティアの方に学校に来ていただいています。現在はどのような状況でしょうか。

事務局（相武班長）：小中学校とも出張おはなし会を依頼いただいております。コロナ禍以前のような状況に戻ってきています。

星野副委員長：図書館では多くのボランティアが活動されています。ボランティア全体に光をあて、成果の発表の場や活動について紹介していくことも重要です。情報発信の媒体も多様化してきていますが、このことについてご意見が

ありましたら伺います。

意見等なし

星野副委員長：17～18 ページの数値について、意見やご指摘等いかがでしたでしょうか。昨年と資料と比較しても達成できているものが多く、努力したことが成果として表れています。残りの期間も頑張って取り組んでいただければと思います。

星野副委員長：それでは議題（１）について、事務局案のとおり承認ということよろしいでしょうか。（承認）

星野副委員長：それでは続いて、議題（２）令和６年度図書館経営方針及び重点施策について、事務局から説明をお願いします。

事務局（芦田班長）：資料に基づいて説明。

星野副委員長：袖ヶ浦高校で利用申込書の配布を行うとのことで、利用者拡大の大きなチャンスです。他にも幼稚園や保育園の入園時や小学生のまち探検、中学生の朝読など他にもチャンスがあると思うので、活かしていただきたいと思います。またおすすり本のPOPについては掲示だけでなく、国語の単元と絡めたおすすり本のプレゼンなど授業ともタイアップ、授業化ができないか教材等を見直していただきたい。

石井委員：報告の中にある学童への声掛けは良いと思います。今後も積極的にかかわっていただきたいと思います。

星野副委員長：他に、何かご意見等ございませんか。特にないようですので、議題（２）について、事務局案のとおり承認ということよろしいでしょうか。（承認）

それでは４月以降の図書館運営について、引き続きよろしくお願いします。

星野副委員長：議題（３）その他について、何かございましたら事務局より説明をお願いします。

事務局（芦田班長）：その他については、特にございません。

星野副委員長：それでは予定の議題が終了いたしましたので議長の任を解かせていただきます。

事務局（芦田班長）：ありがとうございました。
それでは事務局からいくつか報告事項がございます。

報告事項（それぞれ資料に基づき概要を説明）

- （１）袖ヶ浦市立図書館協議会先進地視察研修について（芦田班長）
- （２）袖ヶ浦市立電子図書館の利用状況について（相武班長）
- （３）令和５年度夏・秋のトショロ月間の実施結果について（相武班長）
- （４）その他
 - 中央図書館及び長浦おかのうえ図書館の照明ＬＥＤ化について（芦田班長）
 - 図書館窓口等運営委託について（芦田班長）
 - 公民館の市長部局移管について（島田生涯学習課長）

事務局（芦田班長）：それでは皆様長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。これをもちまして令和５年度第２回図書館協議会を閉会いたします。
お忙しい中、ありがとうございました。

令和5年度第2回袖ヶ浦市立図書館協議会次第

日時 令和6年2月5日(月)
午後2時から4時まで
場所 袖ヶ浦市立中央図書館
2階 視聴覚ホール

1 開 会

2 あいさつ

- (1) 委員長あいさつ
- (2) 教育長あいさつ

※出席人数確認、配布資料確認

3 議 題

- (1) 令和5年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況の点検・評価について
(第1回) : p. 2
- (2) 令和6年度図書館経営方針及び重点施策について : p. 19
- (3) その他

4 報告事項

- (1) 袖ヶ浦市立図書館協議会先進地視察研修について : p. 25
- (2) 袖ヶ浦市電子図書館の利用状況について : p. 29
- (3) 令和5年度夏・秋のトショロ月間の実施結果について : p. 33
- (4) その他
中央図書館及び長浦おかのうえ図書館の照明LED化について
図書館窓口等運営委託について
公民館の市長部局移管について

5 閉 会

第 19 期袖ヶ浦市立図書館協議会委員名簿

氏 名	選 出 区 分	備 考
すずき だいすけ 鈴木 大介	学校教育 蔵波中学校校長	2 期目
みかみ あやこ 三神 亜矢子	学校教育 袖ヶ浦高等学校実習助手	1 期目
きくち いくこ 菊地 育子	学校教育 平岡小学校学校司書	1 期目
こばやし きみよ 小林 君代	社会教育 おはなし会ボランティア	2 期目
いしい きみえ 石井 喜三江	社会教育 公民館運営審議会委員	2 期目
たかはし かずこ 高橋 和子	家庭教育 ファミリーサポートセンター提供会員、家庭教師	4 期目
みやこし さとこ 宮越 賢子	家庭教育 公募	1 期目
よしむら まりこ 吉村 真理子	学識経験 千葉敬愛短期大学副学長	3 期目
ほしの ひろし 星野 裕司	学識経験 元千葉市立美浜図書館館長	2 期目
たけい たかふみ 武井 隆文	学識経験 元袖ヶ浦市職員	1 期目

委員任期

令和4年12月1日から令和6年11月30日まで

議題（１）令和５年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について

（第１回）

“図書館はサービス水準の向上を図るため、サービスの実施状況について点検及び評価を行う際の評価指標及び目標年度を令和７年度とする数値目標を設定し、その達成状況等について、年度ごとに点検及び評価を行います。”

（「袖ヶ浦市第４次図書館サービス網計画」３－５サービス評価指標）

図書館法は、第７条の３及び第７条の４において、図書館が自らの運営状況について評価を行い、その結果に基づき、運営の改善のための必要な措置を講じ、運営状況に関する情報を地域住民等へ積極的に提供するように努めなければならないことを規定している。

袖ヶ浦市立図書館は、令和３年度に袖ヶ浦市第４次図書館サービス網計画を策定し、その後、地域住民の代表である図書館協議会の協力を得ながら、図書館サービスの実施状況について、年度ごとに点検・評価を行い公表してきた。今回は、前期計画３年目の点検・評価となる。

なお、第４次図書館サービス網計画の計画期間は、令和３年度から令和１２年度までの１０年であるが、図書館を取り巻く環境の変化等に柔軟に対応するため、計画期間を前期と後期の各５年に分けており、サービス評価指標及び参考指標と数値目標については、前期の最終年度である令和７年度を目標年次としている。

今後のスケジュール

時 期	作 業 内 容
１月まで	・令和５年度の取組を、第４次図書館サービス網計画のサービス内容（１）（２）（３）のシートに分けて点検する。
２月～３月	・【令和５年度第２回図書館協議会】図書館協議会委員の意見を伺う。
４月～５月	・シートに記載した点検内容の追加及び修正を行うとともに、確定した令和５年度の実績数値によって、サービス評価指標の達成度について評価する。
６月～７月	・【令和６年度第１回図書館協議会】図書館協議会委員の意見を伺う。（前回の追加及び修正）
８月	・教育部課長会議及び教育委員会で報告する。
９月上旬	・図書館のホームページを通じて公表する。

令和5年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価の評価方法

袖ヶ浦市第4次図書館サービス網計画において、数値目標を設定した指標は、サービス内容(1)に対応するサービス評価指標(①～⑪)と、サービス内容(2)(3)に対応する参考指標(⑫～⑳)とで構成されている。これらの指標のうち、参考指標については主に活動指標(※1)であることから評価の対象とせず、成果指標(※2)が主である①～⑪のサービス評価指標の達成度に基づいて評価するものとする。

- ※1 活動指標：目標を達成するための手段（事業の進め方・やり方）の大きさを表す指標（アウトプット指標）。
- ※2 成果指標：事務事業を行うことによって対象にどれだけの効果を与えることができたかを表す指標（アウトカム指標）。

1 点検

令和5年度に行った図書館サービスの取組を、第4次図書館サービス網計画のサービス内容(1)(2)(3)のシートに分け、「取組内容」「指標の実績値」「成果・効果」「課題」「今後の対応」を記載する。

※「指標の実績値」については、今回の資料では令和5年12月までの数値を記載している。年度が完了した後に、改めて令和5年度実績値を入力する。

2 図書館協議会からの意見

地域住民の代表である図書館協議会委員からの意見をサービス内容ごとに伺い、サービス内容(1)(2)(3)のシートに「図書館協議会からの意見」としてまとめる。

3 評価（令和6年度第1回図書館協議会で行う。）

(1) サービス評価指標①～⑪の目標値に対する達成度を4段階で表示する。

- ◎：目標値に対して100%以上の達成率
- ：目標値に対して80%以上100%未満の達成率
- △：目標値に対して60%以上80%未満の達成率
- ×：目標値に対して60%未満の達成率

(2) サービス評価指標①～⑪の達成度◎を30点、○を20点、△を10点、×を0点として採点し、平均値を全体評価としてA・B・Cの3段階で表示する。

- A：施策の成果が十分に図られている。24点以上（80%以上）
- B：施策の効果が図られ、一定の成果があった。
18点以上24点未満（60%以上80%未満）
- C：施策の成果が十分に図られているとは言えず改善を要する。
18点未満（60%未満）

袖ヶ浦市第4次図書館サービス網計画 サービス評価指標達成度及び全体評価

※R5 実績値、達成度及び全体評価は、年度が完了し実績値が確定した後に入力し、令和6年度第1回図書館協議会で評価する。

サービス評価指標	前期計画 目標値 (R7)	実績値 (R5)	達成率	達成度	点数
①市民1人当たりの所蔵 図書冊数	11.3 冊				
②袖ヶ浦市関係郷土行政 資料の年間受入冊数	300 冊				
③年間個人貸出利用者数	149,000 人				
④年間個人貸出資料点数	550,000 点				
⑤市民1人当たりの年間 個人貸出資料点数	8.5 点				
⑥年間市民新規登録者数	1,400 人				
⑦市民登録率	42%				
⑧年間リクエスト処理件 数	55,000 件				
⑨年間レファレンス処理 件数	1,200 件				
⑩1か月当たりのウェブ 予約受付件数	4,000 件				
⑪来館者満足度	80%				
全 体 評 価				合計点	
				平均点	

サービス内容（１）「資料及び情報の収集、提供等」取組状況シート

下線部は令和５年１２月末実績

取組内容（「★」新規、「☆」一部新規・拡充、「・」継続）

① 図書館資料の収集

- ・「袖ヶ浦市立図書館資料収集規程」及び「袖ヶ浦市立図書館資料選定基準」に基づき、新刊図書を中心に購入し、全館の開架資料 315,315 冊に対して 8,912 冊を受入（うち購入 8,455 冊）し、開架書架の約 2.8 %を更新した。
- ・寄贈図書の受入れを積極的に行い、427 冊（一般書 411 冊（うち郷土資料 216 冊、一般用 198 冊）、児童書 13 冊）を受け入れた。
- ・行政資料については年度当初に市役所内に広く寄贈を呼び掛け、データのみで公表した資料は図書館で製本して受け入れたほか、電子資料としても保存することとした。図書館で製本した袖ヶ浦市関係郷土行政資料 15 タイトル、42 冊。
- ・電子図書館のコンテンツを利用状況や利用者の年代等を考慮して 179 点購入した。

② 貸出サービス

- ☆予約・リクエスト資料をより早く多くの利用者に提供するため、１月から資料の取り置き期間を２週間から１週間に変更した。
- ・図書館で所蔵していない図書について、県内公立図書館および大学・県外図書館から図書を借用して利用者に提供した。2,468 冊（うち大学・県外 2 冊）
- ★根形・平岡公民館図書室の利用促進を目的に本の取り寄せ方法等を記載したポスターを作成し、公民館図書室に掲出するとともに、講座等公民館事業の関連図書等を紹介するミニ特設コーナーを設置し、公民館利用者の関心が高い資料の紹介に努めた。
- ・幅広い年代に対して図書館の豊富な資料を紹介する取組として、特設コーナー等において図書館（中央・長浦・平川図書館）共通で市民の生活課題の解決に資するテーマを取り上げて積極的に提供したほか、平川図書館では蔵書内容の特性を活かし、独自のテーマで展示する月を設けた。秋のトショロ月間では「こんな本もあったんだ！？ちょっとマニアックな本たち」というテーマで長浦おかのうえ図書館カウンター前で展示・貸出を行った。
- ・webOPAC（インターネット上でアクセスできる蔵書目録）上で図書館おすすめに掲載している各種リストを適宜更新したほか、関心が高いと思われるNHKの朝の連続テレビ小説や大河ドラマに合わせたテーマなどを取り上げた。
- ・男女共同参画週間（6/23～6/29）に合わせ、6月の特設コーナー「共に生きる」で関連図書を紹介したほか、司書が選定した令和５年度版「男女共同参画社会図書リスト」を作成し、図書館（中央・長浦・平川図書館）だけでなく市民協働推進課でも配布した。
- ☆特設コーナーとは別に、時事的なテーマのおすすめ図書を紹介する取組として長浦おかのうえ図書館のカウンター前では時節に合わせたテーマに関するおすすめ図書コーナーを通年で設置し、幅広い資料の紹介を行った。
- ・映画会、文芸講座など読書普及事業の集会事業開催時に関連図書を紹介したほか、秋のトショロ月間では、長浦おかのうえ図書館カウンター前で成人向け講座の開催

に合わせた関連図書の展示・貸出を行った。

- ・「若い人に贈る図書館お薦めの20冊」の図書リストを改訂して図書館内で配布したほか、館内の特設コーナー、webOPACの「図書館おすすめ」、X（旧ツイッター）で紹介した。
- ・市の広報誌の「おすすめ図書コーナー」で毎月2冊紹介文付きでおすすめ図書を掲載したほか、図書館ホームページに図書館員の個性を生かしたテーマで「図書館員のおすすめ」を2か月ごとに掲載した。
- ・「スタンプラリー」「本のおたのしみ袋」「えほんのふくぶくろ」など、貸出増につながる事業や企画を年間を通じて推進した。

☆公民館図書室の利用促進を図るため、長浦・平川で行っていた対象年齢別の「すぐに借りて帰りたい人のためのおすすめ絵本セット」を、6月以降は根形・平岡でも作成と随時提供を始めた。

★12月から市の電子申請システムを利用し、マイナンバーカードを使い図書館の利用申込を来館せずに行えるようにした。

- ・勤労世代や学生など余暇が少なく来館が難しい方でも好きなタイミングで図書を借りることが出来る電子図書館サービスを実施した。提供コンテンツ数471点、のべ貸出冊数1,417点、1か月あたり貸出冊数157.4冊（R4.12月末の貸出冊数91.8冊）、1か月あたり利用人数57.2人（R4.12月末の利用人数42.4人）

☆電子図書館にアクセスしやすい環境整備として、ホームページのトップページに電子図書館のリンクバナーを設置するとともに、新たなコンテンツの利用開始に合わせて市のLINE等で広報した。

☆図書館を直接利用しない市民にも図書館の資料を広く提供するため、団体貸出サービスについて、市内高齢者デイサービス提供事業者へ利用案内のチラシ送付を行った。

★部活動や学習などで余暇が少なく来館が難しい高校生に電子図書館の利用を働き掛けるため、11月に袖ヶ浦高校の1年～3年生の希望する生徒に対し、電子図書館の利用方法の講座を袖ヶ浦高校で実施し、生徒教職員合わせて42人が参加した。

☆中高生向けに電子図書館の利用についての図書館だよりの号外を12月に作成・発行し、SNS等で周知したほか市内中学校5校と袖ヶ浦高校への配布及び掲示依頼を行った。

③ レファレンス・情報提供サービス

- ・市民の課題解決を支援するため、インターネットやデータベース等も活用し、利用者の求めに応じて資料及び情報の提供・紹介等を行うレファレンスサービスを推進した。
- ・レファレンスにおいて、最新の情報の提供にはデータベースを積極的に活用し、利用者が求める資料や情報の提供を図った。
- ・袖ヶ浦市立図書館の所蔵資料では解決できないレファレンスについて、県立図書館と国立国会図書館へのレファレンス依頼を行い、利用者の課題解決に努めた。
- ・袖ヶ浦市立図書館の所蔵資料では解決できないレファレンスについて、郷土博物館と県立美術館へのレフェラルサービスを行い、利用者の課題解決に努めた。

☆パスファインダー（調べ方案内）は大人向けに「『健康・医療』情報」改訂版、『高齢者介護』を、児童向けには「『お金』を調べる」をそれぞれ作成し、図書館のホームページに掲載した。紙の資料は全館で配布したほか、テーマに合わせ、健康推進課、高齢者支援課、介護保険課等関係機関にも配布して活用を図った。

☆ホームページに掲載しているパスファインダーについて、今まではPDFファイルのみの掲載だったが、すぐに関連本の予約ができるように関連本の所蔵一覧を新たに作成しリンクを表示させた。

- ・月替わりで時機をとらえた共通のテーマで関連図書を紹介する特設コーナーでは、SDGsの目標に対応したテーマを積極的に取り上げ、17の目標のうち8つの目標について紹介した。
- ・市役所職員向けに毎月、袖ヶ浦市関連の新聞記事見出し一覧を公開するとともに、レファレンスサービスの周知を行った。
- ・図書館だよりでレファレンスサービスに関する記事を掲載するとともに、市役所庁内に向けては庁内グループウェアを活用し周知を図った。

☆土日に中央図書館児童カウンターへの職員配置を再開するとともに、利用者が職員に相談しやすくなるように職員や委託スタッフの名札に「本探しお手伝いします。気軽に声がけください」の案内表示を行い、さらに中央と長浦では夏休み期間中の入口付近での「夏休みの宿題応援します」という案内掲示を行いレファレンスの周知を図った。レファレンス処理件数1,190件（R4.12月末の処理件数699件）

サービス評価指標	前期計画 目標値 (R7)	R5 実績値 (R5.12月末)	達成度
①市民一人当たりの所蔵図書冊数	11.3 冊	11.0 冊	
②袖ヶ浦市関係郷土行政資料の年間受入冊数	300 冊	218 冊	
③年間個人貸出利用者数	149,000 人	95,294 人	
④年間個人貸出資料点数	550,000 点	384,805 点	
⑤市民1人当たりの年間個人貸出資料点数	8.5 点	5.8 点	
⑥年間市民新規登録者数	1,400 人	999 人	
⑦市民登録率	42%	39.1%	
⑧年間リクエスト処理件数	55,000 件	50,630 件	
⑨年間レファレンス処理件数	1,200 件	1,190 件	
⑩1か月当たりのウェブ予約受付件数	4,000 件	4268.3 件	
⑪来館者満足度	80%	偶数年度実施	

成果・効果

- ・非来館での図書館の利用申込を可能にしたことにより、余暇時間が少なく来館が難しい人でも利用申込が可能になり、年間市民新規登録者数の増と電子図書館利用促進に向けた環境整備ができた。
- ・公民館図書室で公民館事業の関連図書を紹介することで、公民館利用者の関心が高いテーマの本を紹介することになり図書室への来館契機を作ることができた。
- ・電子図書館についての積極的な周知及びコンテンツの数と質の充実を図った結

果、令和4年度と比較して1か月あたりの平均利用人数が約1.3倍、貸出冊数が約1.7倍と大幅に増加した。

- ・中央図書館児童カウンターへの職員配置や名札への声掛け案内貼付、宿題応援の案内掲示などレファレンス件数増につながる取組を積極的に行ったことにより、レファレンス処理件数が令和4年度と比較して1.7倍と大幅に増加した。

課題

- ・様々なおすすめ図書の紹介や電子図書館サービス、読書普及事業などの取組に加え、新たな取組として利用申込の電子申請化を行い利用の増を図ったが、LED化工事に伴う臨時休館の影響もあり、個人貸出、新規登録ともに伸び悩んでいる。
- ・電子図書館の利用は、広報や講座などのPR活動により一時的に利用が増加するものの継続的な利用につながりにくい。
- ・電子図書館の主な利用者世代は主に40代から60代であり、周知に努めているものの10代から20代はまだ少ない状況が続いており、引き続き10代から20代の利用促進について検討し取り組む必要がある。

今後の対応

- ・JR袖ヶ浦駅、JR長浦駅、袖ヶ浦市役所市民課前に設置の市政情報モニターや袖ヶ浦市公式LINEにおいて、図書館について広報し利用喚起を図る。
- ・袖ヶ浦高校の新生に利用申込書を配布し、申込希望者は学校を通じて申し込めるようにすることで、新規登録者数と利用の増を目指す。
- ・電子図書館の利用増に向けて、引き続きコンテンツ内容や電子申請の周知に努め、幅広い年齢層の継続的な利用を目指して厳選したコンテンツの選定と収集を行うとともに、10代から20代の利用促進に向けて利用講座の開催など袖ヶ浦高校生への働きかけを積極的に行う。
- ・図書館システム更新において、webOPACで電子図書館の資料検索を行えるようにシステムの連携を行い、利用者の利便性向上と電子図書館の利用増を図る。
- ・令和6年度の図書館システム更新において、レファレンスの内容をシステム内でデータベース化する機能を追加し、全館で共有化することでレファレンス業務の効率化と利便性の向上を図るとともに、図書館資料の利用増につなげる。

図書館協議会の意見

サービス内容（２）「利用者に応じたサービス」取組状況シート

参考指標

下線部は令和５年１２月末実績

取組内容（「★」新規、「☆」一部新規・拡充、「・」継続）

① 乳幼児と保護者に対するサービス

☆「すきすき絵本タイム」を、夏と秋のトショロ月間内のイベントとして根形公民館図書室で実施したほか、平岡公民館図書室での乳幼児向けのイベントを要望する声に応え、４月と秋のトショロ月間内のイベントとして令和元年以来４年ぶりに実施したところ、４月は１７人、秋のトショロ月間内では２９人の参加があった。

- ・家庭における読書活動を推進するため、保健センターと中央図書館における「図書館でブックスタート」を毎月１回ずつ実施した。配布率 73.1%。

☆「図書館でブックスタート」は中央図書館２階で開催していたが、乳児を抱きかかえて階段を上がるなど保護者の負担が大きかったので、新型コロナウイルス感染症の５類感染症移行に伴い部屋の収容人数の制限が緩和されたことにより、１階児童室のおはなしのへやに会場を変更し、参加者の負担軽減を図り参加しやすくした。

- ・「図書館でブックスタート」は通常第３火曜日に開催しているが、平日に都合のつかない方の参加を考慮し、夏のトショロ月間と秋のトショロ月間内では土日に開催した。

☆利用者のニーズが高いことから、０歳からの「おひざにだっこのおはなし会」を合計で 12 回実施した。毎開催日２回開催予定で参加者を募集したところ、どの館でも毎回ほぼ満席になった。

- ・中央、長浦おかのうえ、平川図書館で「えほんのひろば」や「おはなし会」と「子ども映画会」を対象年齢をあわせて同日に開催することで、相乗効果により単独開催と比べてそれぞれの参加者が増えた。
- ・ウェブ上で参加申し込みができる「図書館でブックスタート」「すきすき絵本タイム」「おひざにだっこのおはなし会」「えほんのひろば」「おはなし会」について、新聞購読をしていないなどの理由で広報を見ることが出来ない市民に向けて、毎月月初に市のＬＩＮＥで案内を行った。
- ・対象年齢別のおすすめ図書リストの発行と図書館ホームページへの掲載を行ったほか、児童室で季節や事物など様々なテーマでおすすめ図書を展示し適宜Ｘ（旧ツイッター）で周知した。
- ・夏のトショロ月間では子どもたちが読書に関心を持つきっかけとなるように「お題の本 DE BINGO!!」（平川）や「としょかんでなつのうみをつくろう!」（根形・平岡）を実施し、秋のトショロ月間では「トショロのまちがいさがし」（平川・根形・平岡）と合わせて間違い探しのテーマに合わせた絵本の展示・貸出を行った。

② 児童・青少年に対するサービス

- ・館内おはなし会を定期的に開催したほか、保育所・小学校・中学校・学童保育等への出張おはなし会を実施した。おはなし会等実施回数合計 385 回
- ・定期開催のおはなし会への参加が少ない小学校中学年以上の子ども向けに内容や

テーマを設定して長浦おかのうえ図書館で「ちょっぴりこわいおはなし会」、中央図書館で「ちょっぴりながいおはなし会」、「英語でおはなし会」を夏のトショロ月間内で開催した。

- ・夏のトショロ月間期間内に設けた夏休みの課題支援の一環で、調べ学習や読書感想文、自由研究についての問い合わせに多数対応したほか、読書感想文におすすめの図書のリストやパスファインダーを作成し館内での配布および貸出を行った。また、X（旧ツイッター）での周知、図書館ホームページへの掲載を行うなど積極的に支援した。
- ・年齢別おすすめ図書リストを2回作成し、図書館ホームページへの掲載と館内だけでなく学校や保育所等へ配布した。各館の児童室では、テーマを決めた定期的なおすすめ図書の紹介展示を行った。
- ・こどもの読書週間記念行事で実施するスタンプラリーを公民館図書室への来館機会にするために、専任職員在室日に来室するごとにスタンプを1つ押印することにしたところ、平岡公民館図書室では参加者が前年比13人増となった。
- ★部活動や学習などで余暇が少なく来館が難しい高校生に電子図書館の利用を働き掛けるため、11月に袖ヶ浦高校の1年～3年生の希望する生徒に対し、電子図書館の利用方法の講座を袖ヶ浦高校で実施した。（再掲）
- ☆中高生向けに電子図書館の利用についての図書館だよりの号外を作成・発行し、SNS等で周知したほか市内中学校5校と袖ヶ浦高校への配布及び掲示依頼を行った。（再掲）
- ・青少年の図書利用を促進するため、中学生向けの「ジュニアコーナー」や高校生向けの「青少年コーナー」の充実を図ったほか、昨年度に引き続き中学生・高校生向けに「イチオシ本のPOPを書こう！」を企画し、小学校2校、中学校4校、高校1校から612人の参加があった。

③ 成人に対するサービス

- ・月替わりでおすすめ図書を紹介する特設コーナーにおいて、時節柄関心の高いテーマを取り上げ、図書館のwebOPACの「図書館おすすめ」にもリストを掲載し、ホームページのお知らせ、X（旧ツイッター）でも広報した。
- ・会議資料の作り方、起業、転職、経営に関する本など、働く上で役立つビジネス資料を積極的に収集し、さらに、図書館のwebOPACの「図書館おすすめ」のリストに掲載している「ビジネス書（2023年発行）」を3回更新し、図書館で購入した新刊ビジネス書の紹介に努めた。
- ★高齢者向け講座に代わり、成人向け講座として「そろそろ始める 団塊ジュニアのための老後資金計画」を開催し定員80人に対し47人の参加、参加者の満足度は約80%であった。現役世代の参加促進のためウェブ上で参加申込をできるようにし、さらに土曜日に開催したところ、40代から50代の現役世代の参加が多数あった。また、講座に関連し、長浦おかのうえ図書館のカウンター前で「シニアライフをたのしむ」というテーマで関連図書の展示・貸出を行い、貸出冊数の増につながった。
- ・文芸講座では、ウェブ上からも参加申込ができるようにして利用者の利便性の向上を図ったほか、新型コロナ5類移行による規制緩和を受けて令和2年度以来3

年ぶりに希望者と講師による懇談会を行い、理解を深めることができた。

④ 高齢者に対するサービス

- ・地域の高齢化が進行する中で、市民の関心が高く、常に新しい情報が求められる社会福祉と医学関連の図書を積極的に収集した。社会福祉の分野の図書（一般書）を全館で 94 冊収集し、同分野の全開架図書 2,235 冊の約 4.2% を更新したほか、医学・薬学の分野の図書を全館で 442 冊収集し、同分野の全開架図書 9,976 冊の約 4.4% を更新した。
- ・高齢者が利用しやすい資料として、大活字本 180 冊（67 タイトル）や朗読CD 11 点（7 タイトル）を購入した。webOPACの「図書館おすすめ」に掲載している「大活字本リスト 小説・2021 年から発行」のリストを更新し、資料の紹介に努めた。
- ・映画会について新型コロナウイルス感染予防対策として予約制としてきたが、規制緩和に伴い予約不要としたことにより、気軽に参加できるようになった。また、参加者の作品理解を深めるために、作品上映のみならず関連図書の展示・貸出や解説書の配布を行った。

⑤ 図書館利用に障がいのある人に対するサービス

- ・心身の障がいや長期のケガ、病気等により図書館への来館が困難な市民を対象に、依頼に応じて図書館資料を届ける宅配サービスを実施した。宅配による貸出 91 冊。
- ☆加齢による身体の虚弱等により自力来館が難しいなど、袖ヶ浦市立図書館管理運営規則で定める宅配サービスの要件に該当しない来館困難者への宅配について、利用要件を新たに定め令和7年度末まで試行実施することとした。
- ☆学習障がい等により読みに苦手さのある子どもへの図書流通システムを通じた読書支援サービスについて、小中学校の教員向けにサピエ図書館やデージー図書（※）を案内する『読書支援サービス通信』を年 2 回作成・配布し、周知と利用の促進に努めた。
- ☆団体貸出の利用案内のチラシを、これまで未送付であった放課後等デイサービスと児童発達支援施設へ送付し、障がいを持つ子どもの読書機会の充実と団体貸出の利用増を図った。

⑥ 多文化サービス

- ・外国語（英語）の図書 14 冊（一般書 2 冊、児童書 12 冊）を購入し、webOPACの「図書館おすすめ」にも「令和5年度受け入れ洋書リスト」を掲載して資料の紹介に努めた。
- ・外国語資料を活用した取組として、夏のトショロ月間の中で「英語でおはなし会！」を2回開催し、日本語と英語の両方で読み聞かせと手遊びを行い小学校中学年や高学年の子どもの参加があった。併せて、会場に洋書絵本を展示し、外国語資料の紹介に努めた。
- ・外国語図書コーナーのない長浦おかのうえ図書館、平川図書館、根形公民館図書室で外国語の絵本を日本語訳の絵本と並べて紹介展示し、貸出の機会を設けた。

参 考 指 標	前期計画 目標値 (R7)	R5 実績値 (R5. 12 月末)	達成度
⑫ブックスタートの年間配布率	80%	73.1%	
⑬こどもの読書週間記念行事の参加者数	900 人	1,045 人	
⑭おはなし会の年間実施回数	480 回	385 回	
⑮子ども向けお薦め本リストの年間発行回数	6 回	7 回	
⑯成人向けお薦め本コーナーの年間企画数	12 件	21 件	
⑰大活字本の年間貸出冊数	4,000 冊	3,319 冊	
⑱宅配による年間貸出資料点数	330 点	91 点	
成果・効果			
・中央図書館児童室のおはなしのへやで「図書館でブックスタート」を行うことで貸出カウンターが近くなり、ボランティアが幼児絵本コーナーや育児本コーナー、0歳児から利用券が作れることを案内すると利用券を作成し借りて帰る参加者が多く、利用促進にもつながった。 ・袖ヶ浦高校生に電子図書館利用方法の講座を実施したことで、13歳から18歳までの実利用者数が28人増加した。電子図書館を継続利用している生徒も数人おり、電子図書館の10代の利用促進につながった。 ・乳幼児向けに「ブックスタート」「すきすき絵本タイム」「おひざにだっこのおはなし会」「えほんのひろば」を行ったほか、3歳から小学低学年向けと小学校中学年から高学年向けに「ちょっぴりこわいおはなし会」、小学校中学年から中学生向けには「ちょっぴりながいおはなし会」やを実施するなど、より幅広い年代に対して子どもの発達段階に応じた読書活動を推進することができた。 ・市のLINEで図書館の子ども向けイベントをホームページの案内ページへのリンクを付けた画像によりPRすることで、関心を持った利用者がすぐに申込みできるようになり、LINEの配信直後に申込みが増えるなど参加者の増につながった。			
課題			
・映画会で使用する上映権付DVDについて、上映可能場所がDVDの所蔵館に限られることになり、各館で上映できる作品が大幅に減少したため、上映回数等を見直す必要がある。 ・読書支援サービスは、教員向けに『読書支援サービス通信』を作成・配布しサピエ図書館とデイジー図書への理解醸成に努めているが、実際の利用に結びついていない。 ・宅配サービスについては、新型コロナウイルスにより利用を停止した方の利用再開がなく、今年度新たに1人から利用の申込みがあったものの利用者数は大きく減少したままである。			

今後の対応

- ・ 0歳児からの「おひざにだっこのおはなし会」はニーズが高いことから、来年度は長浦おかのうえ図書館と平川図書館で開催日を1日ずつ増やして実施する。
- ・ 映画会で上映できる作品の購入を継続的に行うとともに、映画会の実施回数を見直して図書館（中央・長浦おかのうえ・平川）での定期的な映画会開催に努める。
- ・ 読書支援サービスについて、引き続き『読書支援サービス通信』などを通じて学校への周知に努めるとともに、児童発達支援施設や特別支援学校などの施設に対しても、デージー図書の貸出等の周知を図る。
- ・ 宅配サービスについて、現在利用していない宅配サービス利用登録者の状況確認を行い、必要に応じて利用再開について案内をするとともに、関係団体等を通じた案内の送付など周知の拡大を図る。

図書館協議会の意見

※ **デージー図書**:デージー(DAISY)はDigital Accessible Information Systemの略。視覚障がいなどにより活字の読みが困難な人のために製作されるデジタル図書の国際標準規格で、CD-R 1枚に約60時間の録音ができるほか、章や見出し、ページごとに聞きたい場所へ移動することができる等の機能がある。音声データと目次・見出し情報等を記録した「音声デージー」、文字や画像が含まれている「マルチメディアデージー」などがあり、専用の再生機又は再生用ソフトウェアをダウンロードしたパソコンで聞くことができる。

サービス内容（３）「多様な学習機会の提供」取組状況シート

参考指標

下線部は令和５年１２月末実績

取組内容（「★」新規、「☆」一部新規・拡充、「・」継続）

① 学校との連携

☆図書流通システムでの開架資料の貸出基準として新たに「図書流通システム開架資料貸出要項」を定め、これまで収蔵庫資料では対応が難しかった比較的新しいデータが掲載された資料などを貸出できるようにした。物流での開架資料貸出冊数 104 冊

- ・学校の読書や調べ学習を支援するため、市内小中学校からの依頼に応じて図書流通システムにより 3,697 冊の団体貸出を行ったほか、学校貸出用利用券により開架資料 565 冊を貸出した。また、袖ヶ浦高校にも 59 冊の団体貸出を行った。学校図書館への貸出冊数合計 4,425 冊。
- ・中央図書館で奈良輪小児童、平川図書館で中川小児童による授業の成果物の展示を行ったほか、根形中図書委員が委員会活動で作成した「おすすめの本」を中央図書館で展示した。また、夏のトショロ月間では中央図書館で昭和中図書委員会のおすすめ図書展示、中央図書館で袖ヶ浦高校図書委員による「袖高とコラボ！親子いっしょのおはなし会」、長浦おかのうえ図書館で蔵波中美術部の作品展示を行った。
- ・市内の小中学校・高校と連携して「イチオシ本のPOPを書こう！」を実施し、小学校２校、中学校４校、高校１校の計５校から６１２人の参加があった。
- ・昭和小２年生、蔵波小２年生のまち探検の受け入れを行ったほか、中央図書館で昭和中２年生の職場体験の受け入れを行った。

② 関係機関との連携

★秘書広報課が企画実施した夏休み子ども向け市内周遊型謎解きイベント「ガウラを探せ たぬき探偵ジェリーの袖ヶ浦冒険日記」において、長浦おかのうえ図書館がチェックポイントとなり、ガラスケース内で展示中の小説のタイトルが謎を解くカギになった。普段図書館を利用しない人の来館契機にもなり、イベント期間中は親子連れなどが多数来館した。

- ・市民会館・平川公民館合同開催の乳幼児家庭教育学級（うたたねハッピーくらぶ）において読み聞かせと図書館活用法紹介講座「絵本の読み聞かせ&図書館を活用しよう」を行った際に図書館から講師を派遣した。
- ・郷土博物館との連携事業として郷土博物館企画展「袖ヶ浦市の外来種」に関連して中央図書館で「外来種と絶滅危惧種」の資料展示を行った。図書館展示側に企画展のポスターやチラシを掲出することで相乗効果がもたらされるよう工夫した。
- ・根形公民館と平岡公民館の公民館講座に関連図書を提供し、講座内で図書の紹介をしてもらったほか、公民館まつり開催時は図書室で「すきすき絵本タイム」を実施した。
- ・市役所の関係課からの問い合わせに応じて、業務に必要な資料や情報を調査し提供した。問い合わせ件数 6 件
- ・男女共同参画週間（６月２３日～２９日）の時期に「図書館おすすめ男女共同参画

社会関連図書リスト」を作成し、図書館・図書室5館のほか、市民協働推進課へも配布した。

③ ボランティア活動等の推進

- ・おはなし会やブックスタート（すきすき絵本タイム含む）、映画会、資料展示、工作など市民ボランティアとの連携により、読書普及事業を推進した。
- ・乳幼児向けおはなし会の依頼が増えていることから、「わらべうた」をテーマにしておはなし会ボランティアスキルアップ講座を経験の長いボランティアを講師に開催した。また、特に経験の浅いおはなし会ボランティアのスキルアップを目的に、絵本の読み聞かせと素話の練習会を2回開催した。
- ・夏のトショロ月間の「英語でおはなし会!」、秋のトショロ月間「青空かみしばい劇場」と「ハロウィン工作教室」において、社会教育推進員から内容や会場の装飾などについて様々なアイデアが出され充実した催しを実施できた。
- ・中央図書館の資料展示において、展示ボランティアが毎回テーマに則した様々な飾りや立体物を手作りしてくれるため、展示自体が華やかになるとともに来館者が展示に関心を持つ契機になっている。
- ・映画会ボランティアの映画に関する豊富な知識を活かして上映作品選定や作品紹介を行うとともに、ボランティアが受付をすることで上映作品の要望など参加者からの意見を得やすくなった。
- ・秋のトショロ月間では図書館登録サークルによる成果発表の場を設け、俳句・短歌作品展示や人形劇団による人形展示と人形劇、「大人のためのお話し会」や朗読発表会を行い、サークル活動の活性化を図った。また、図書館で所蔵する関連図書の紹介もあわせて行った。

④ 図書館からの情報発信

- ・図書館が広く市民に活用されるために、市の広報紙や公式LINE、図書館のホームページ、X（旧ツイッター）やメールマガジン、図書館だより等様々な媒体を活用して、図書館の資料や読書普及事業等について積極的な情報発信を行った。また、市のインスタグラムでも秘書広報課により図書館の情報を紹介した。
- ☆中高生向けに電子図書館の利用についての図書館だよりの号外を作成・発行し、SNS等で周知したほか市内中学校5校と袖ヶ浦高校への配布及び掲示依頼を行った。（再掲）
- ☆ホームページに掲載しているパスファインダーについて、今まではPDFファイルのみの掲載だったが、すぐに関連本の予約ができるように関連本の所蔵一覧を新たに作成しリンクを表示させた。また、読書普及事業の実施状況についてもフォトニュースやX（旧ツイッター）を通じて積極的にPRした。
- ★多くの市民に周知が図れるようJR袖ヶ浦駅、JR長浦駅、市役所に設置している市政情報モニターに、秋のトショロ月間と電子図書館についての案内を映した。
- ★減少している長浦おかのうえ図書館の児童書の利用を増やすため、新たに長浦おかのうえ図書館の子ども向けイベントや本を紹介する『おかのうえ通信』を作成・発行し、長浦地区の幼稚園及び造成等により新たな住民が増えている近隣3自治

会に年2回配布した。

参 考 指 標	前期計画 目標値(R7)	R5 実績値 (R5.12月末)	達成度
①9学校図書館への年間貸出図書冊数	3,500冊	4,366冊	
②0学校との連携による図書館内掲示や催し物の年間事業数	7回	7回	
②1公民館・博物館等関係機関と連携した年間事業数	7件	19件	
②2図書館ボランティア研修会等の年間実施回数	25回	21回	

成果・効果

- ・学校への図書貸出について一部開架資料の貸出を開始したこと、学校のニーズに的確に応えたことなどにより貸出の増につなげることができた。
- ・児童生徒の作品展示やPOPについて学校に積極的に周知を図ってきたことにより、これまで申込みの無かった学校から作品展示の申込みがあるなど新たに3校と連携することができた。
- ・公民館や郷土博物館と連携した取組を推進し、互いの事業を充実させることができた。
- ・図書館ボランティアや社会教育推進員との協働により、図書館の運営や読書普及事業の内容を充実させることができた。特にブックスタートボランティアについては養成講座修了生が新たにボランティア登録をして活動を開始した。
- ・図書館ホームページ上で様々なコンテンツを更新・新規作成したほか、メールマガジンだけでなくX（旧ツイッター）も積極的に配信するなど、図書館からの情報発信を充実させることができた。また、市の公式LINEやインスタグラムも活用し幅広く発信した。

課題

- ・X（旧ツイッター）を活用し情報発信を行っているが、Xの仕様変更によりホームページのトップページに設置したタイムラインウィジェットに投稿が表示されず、図書館からの情報発信に影響が生じている。

今後の対応

- ・図書館システム更新において、見やすさや使いやすさに留意し、情報発信能力を向上させたホームページの作成を目指す。
- ・社会教育施設の事業への資料提供や市役所各課からのレファレンス受付等、関係機関との連携をより一層推進する。

図書館協議会の意見

議題(1) 参考資料① サービス評価指標・参考指標の実績推移【12月末時点】 令和2年度～令和5年度

☆:第4次図書館サービス網計画で新しく追加した指標

市人口		65,075	65,288	65,659	66,022		
内容	サービス評価指標	R2年度末 実績	R03.12 実績	R04.12 実績	R05.12 実績	対応する施策	備 考
(1) 資料及び情報の収集、提供等	① 市民一人当たりの所蔵図書冊数(冊)	10.9	11.0	11.0	11.0	(1)①図書館資料の収集	所蔵図書冊数÷人口。年5,000冊の増(10,000冊受入・5,000冊除籍)で算出。
	② 袖ヶ浦市関係郷土行政資料の年間受入冊数(冊/年)	314	222	206	218	(1)①図書館資料の収集	紙媒体だけでなく、図書館で保存したPDFファイル等の電子資料を含む。
	③ 年間個人貸出利用者数(人)	77,507	91,688	95,771	95,294	(1)②貸出サービス	個人利用者の延べ貸出利用人数。市外利用者を含む。
	④ 年間個人貸出資料点数(点)	331,988	389,469	399,612	384,805	(1)②貸出サービス	個人利用者の雑誌・視聴覚資料を含む総貸出資料点数。市外利用者を含む。
	⑤ 市民一人当たりの年間個人貸出資料点数(点)	5.1	6.0	6.1	5.8	(1)②貸出サービス	年間個人貸出資料点数÷人口。
	⑥ 年間市民新規登録者数(人)	536	888	987	999	(1)②貸出サービス	市民登録者は市内在住者のみで、在勤・在学者を含まない。
	⑦ 市民登録率(%)	39.6	40.8	40.0	39.1	(1)②貸出サービス	市民登録者は市内在住者のみで、在勤・在学者を含まない。本市では10年間未利用の登録者は除籍している。
	⑧ 年間リクエスト処理件数(件) ☆	52,485	49,243	51,339	50,630	(1)③レファレンス・情報提供サービス	未所蔵資料のリクエスト処理件数、所蔵資料の予約処理件数の合計。
	⑨ 年間レファレンス処理件数(件)	417	537	699	1,190	(1)③レファレンス・情報提供サービス	レフェラルサービス、クイックレファレンスを含む件数。
	⑩ 一か月当たりのウェブ予約受付件数(件)	3,262.3	4,081.0	4,274.8	4,268.3	(1)③レファレンス・情報提供サービス	日常的な来館が困難な市民でも利用できるサービスの指標。
	⑪ 来館者満足度(%)	77.7		74.0		(隔年で実施する利用者アンケート調査で設問)	隔年で実施する利用者アンケートで設問する。

内容	参考指標	R2年度末 実績	R03.12 実績	R04.12 実績	R05.12 実績	対応する施策	備 考
(2) 利用者に応じたサービス	⑫ ブックスタートの年間配布率(%)	33.6	57.7	53.9	73.1	(2)①乳幼児と保護者に対するサービス	配布数÷対象人数(市内在住の4か月児)
	⑬ こどもの読書週間記念行事の参加者数(人) ☆	850	861	1,064	1,045	(2)①乳幼児と保護者に対するサービス及び②児童・青少年に対するサービス	「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、こどもの読書週間(4月23日～5月12日)の前後に図書館で実施する啓発事業の参加者数
	⑭ おはなし会の年間実施回数(回) ☆	155	226	371	385	(2)①乳幼児と保護者に対するサービス及び②児童・青少年に対するサービス	対象年齢別に実施する図書館内での各種おはなし会、学校や保育所等への出張おはなし会の実施回数合計
	⑮ 子ども向けお薦め本リストの年間発行回数(回) ☆	8	7	8	7	(2)①乳幼児と保護者に対するサービス及び②児童・青少年に対するサービス	乳幼児向けから高校生まで年代別におすすめ図書リストを作成し、学校や保育所等へ配布する。
	⑯ 成人向けお薦め本コーナーの年間企画数(件) ☆	14	16	19	21	(2)③成人に対するサービス	特設コーナーや秋のトショロ月間、その他成人向けに館内で実施したお薦め本コーナーの企画数の合計。
	⑰ 大活字本の年間貸出冊数(冊)	2,553	2,774	3,331	3,319	(2)④高齢者に対応するサービス	個人貸出の実績を集計する。
	⑱ 宅配による年間貸出点数資料(点)	167	58	89	91	(2)⑤図書館利用に障がいのある人に対するサービス	デイジー図書の貸出を含む。
学習機会(3) 多様な提供	⑲ 学校図書館への年間貸出図書冊数(冊)	2,087	2,239	3,257	4,366	(3)①学校との連携	学校貸出利用券による開架資料の貸出を含む。
	⑳ 学校との連携による図書館内掲示や催し物の年間事業数(回) ☆	12	10	8	7	(3)①学校との連携	児童生徒が選んだおすすめ図書の展示、授業や部活動の成果発表に図書館を活用してもらう。袖ヶ浦高校とのコラボでのおはなし会を行う。
	㉑ 公民館・博物館等関係機関と連携した年間事業数(件) ☆	3	7	15	19	(3)②関係機関との連携	公民館の講座への講師派遣や資料提供、博物館と連携した資料展示等を実施する。市長部局との連携を含む。
	㉒ 図書館ボランティア研修会等の年間実施回数(回)	13	21	19	21	(3)③ボランティア活動等の推進	図書館ボランティア(社会教育推進員を含む)の会議・打ち合わせ、新規募集の説明会、養成講座、スキルアップ講座等の実施回数

議題（１）参考資料② 個人貸出等実績推移【12月末時点】 令和２年度～令和５年度

年度 (開館日数)		R2年度 (176日)	R3年度 (227日)	R4年度 (228日)	R5年度※ (221日)	R5/R2比較 125.6%	R5/R3比較 97.4%	R5/R4比較 96.9%
中 央	一般書	70,746	95,542	103,344	96,128	135.9%	100.6%	93.0%
	児童書	40,313	73,122	81,349	76,979	191.0%	105.3%	94.6%
	雑 誌	5,871	7,432	8,003	7,812	133.1%	105.1%	97.6%
	A V	2,440	3,373	3,083	3,311	135.7%	98.2%	107.4%
	合 計	119,370	179,469	195,779	184,230	154.3%	102.7%	94.1%
	利用者	28,062	43,170	47,416	46,812	166.8%	108.4%	98.7%
長 浦	一般書	74,735	95,623	94,251	92,580	123.9%	96.8%	98.2%
	児童書	33,878	52,967	49,016	50,772	149.9%	95.9%	103.6%
	雑 誌	6,434	7,735	7,727	7,247	112.6%	93.7%	93.8%
	A V	5,495	5,447	5,169	4,579	83.3%	84.1%	88.6%
	合 計	120,542	161,772	156,163	155,178	128.7%	95.9%	99.4%
	利用者	26,640	36,673	36,280	36,523	137.1%	99.6%	100.7%
平 川	一般書	13,730	18,690	18,855	17,577	128.0%	94.0%	93.2%
	児童書	5,947	12,061	11,193	9,762	164.1%	80.9%	87.2%
	雑 誌	1,363	1,505	1,492	1,276	93.6%	84.8%	85.5%
	A V	649	864	978	1,089	167.8%	126.0%	111.3%
	合 計	21,689	33,120	32,518	29,704	137.0%	89.7%	91.3%
	利用者	4,962	7,681	7,860	7,486	150.9%	97.5%	95.2%
根 形	一般書	5,875	5,953	5,787	5,619	95.6%	94.4%	97.1%
	児童書	3,251	2,018	2,357	2,481	76.3%	122.9%	105.3%
	雑 誌	1,536	1,578	1,432	1,375	89.5%	87.1%	96.0%
	A V	66	57	44	40	60.6%	70.2%	90.9%
	合 計	10,728	9,606	9,620	9,515	88.7%	99.1%	98.9%
	利用者	3,032	2,716	2,755	2,785	91.9%	102.5%	101.1%
平 岡	一般書	3,115	2,733	2,818	3,683	118.2%	134.8%	130.7%
	児童書	1,655	2,201	2,049	1,843	111.4%	83.7%	89.9%
	雑 誌	335	211	264	220	65.7%	104.3%	83.3%
	A V	274	357	401	432	157.7%	121.0%	107.7%
	合 計	5,379	5,502	5,532	6,178	114.9%	112.3%	111.7%
	利用者	1,677	1,448	1,460	1,688	100.7%	116.6%	115.6%
全 館	一般書	168,201	218,541	225,055	215,587	128.2%	98.6%	95.8%
	児童書	85,044	142,369	145,964	141,837	166.8%	99.6%	97.2%
	雑 誌	15,539	18,461	18,918	17,930	115.4%	97.1%	94.8%
	A V	8,924	10,098	9,675	9,451	105.9%	93.6%	97.7%
	合 計	277,708	389,469	399,612	384,805	138.6%	98.8%	96.3%
	利用者	64,373	91,688	95,771	95,294	148.0%	103.9%	99.5%
1人当たり平均貸出点数		4.3	4.2	4.2	4.0	93.6%	95.1%	96.8%
1日当たり平均貸出点数		1,577.9	1,715.7	1,752.7	1,741.2	110.4%	101.5%	99.3%
1日当たり平均利用人数		365.8	403.9	420.0	431.2	117.9%	106.8%	102.7%
新規登録者数(市内)		968	464	888	987	102.0%	212.7%	111.1%
レファレンス件数		900	366	537	699	77.7%	191.0%	130.2%

※令和5年度は、中央・長浦のLED化工事(10月10日～16日)により6日間休館したため開館日数が221日になりました。

議題（２）令和６年度袖ヶ浦市立図書館経営方針及び重点施策（案）について

１ 経営方針

図書館は、第三期教育ビジョンにおける施策の方向性の一つである「一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実」を推進するため、「市民に親しまれる図書館活動の充実」に取り組みます。

そのため、袖ヶ浦市第４次図書館サービス網計画に基づき、乳幼児から高齢者まで地域の特性に則した、市民の多種多様・高度化する要求に応えられる図書館サービスの充実を図ります。また、市民一人ひとりの学習課題、生活課題、地域課題の解決を支援します。

２ 重点施策

★：新規事業、☆：拡充・一部新規、・：継続、 内は補足説明

（１）資料及び情報の収集、提供等

市民の多種多様な読書要求に応え、高度化する課題の解決を支援するため、社会情勢や地域の実情に留意しつつ、「袖ヶ浦市立図書館資料収集規程」及び「袖ヶ浦市立図書館資料選定基準」並びに「袖ヶ浦市資料除籍基準」に基づき、図書館資料の収集、整理、保存を行い、内容の充実を図ります。

資料や情報の提供にあたっては、利便性に配慮し、地域や年代等にかかわらず広く市民が利用できるよう努めます。また、地域の身近な情報拠点として、市民の様々な課題の解決を支援します。

- ・市民に最新の情報を提供し、開架書架の４％程度を更新できるよう新刊図書などを収集するとともに、郷土行政資料について寄贈を積極的に呼びかけます。

情報科学、法律、経済、医学など情報の更新が早い分野や、現在関心の高い時事的なテーマに関する資料を積極的に更新するとともに、地域の特性やニーズに応じた資料の提供に努めます。

- ・電子データで公表された行政資料を製本し図書館資料として受け入れるほか、さらに電子資料としても収集します。

☆図書館や市における情報伝達手段を活用して、図書館の利用についての広報を行い、図書館の利用喚起を図ります。

J R袖ヶ浦駅、J R長浦駅、袖ヶ浦市役所市民課前に設置の市政情報モニターや袖ヶ浦市公式LINEにおいて、図書館について広報し利用喚起を図ります。

- ★袖ヶ浦高校の新入生に利用申込書を配布し、申込希望者は学校を通じて申し込めるようにすることで、新規登録者数と利用の増を目指します。

- ・幅広い年代に対して図書館の豊富な蔵書を幅広く紹介する様々な企画を推進し、利用の拡大に努めます。また、生活課題・SDGsの17の目標に対応した資料の収集と提供を推進します。

おすすめ図書の館内展示、読書週間やこどもの読書週間にあわせた読書普及事業の企画のほか、広報そでがうら及びホームページやWebOPACのおすすめ図書のページを通じて、幅広い年代に対して図書館の豊富な蔵書を紹介する様々な取組を行います。

- ・図書館へ来館しなくてもインターネットを通じていつでも利用できる電子図書館サービスを実施し、令和5年度から開始した電子申請による図書館利用申込と併せて周知し、市民の読書環境の充実と図書館の利用機会の拡大を図ります。
- ★図書館システム更新において、webOPACで電子図書館の資料検索を行えるようにシステムの連携を行い、利用者の利便性向上と電子図書館の利用増を図ります。

学業や仕事などで来館する機会を持つことが難しい10代後半から50代の方を主な対象としていますが、10代後半から20代の利用は少ないため、学校での電子図書館利用案内などを必要に応じて実施します。また、これまでの電子図書館の貸出傾向を分析し、知名度の高い文芸書や生活のヒントとなるような実用書を中心に、趣味や仕事の参考になる電子書籍を提供します。

- ・個人への貸出だけでなく、学校や地域、企業等における読書活動を支援する団体貸出サービスを推進します。
- ・図書だけでなくインターネットやデータベース等も活用し、個人の調査研究や行政機関等における情報収集、学校における「調べ学習」の支援など、様々な課題解決を支援するため、資料及び情報の提供・紹介等を行うレファレンスサービスを推進します。

フロアワークでの声掛けを実施し、中央図書館児童カウンターに職員を配置します。また、調べ物や読書相談、情報の提供、ホームページや館内の資料検索システムの使用方法の案内など、レファレンスカウンターで行っているサービスの具体的な内容を利用者、行政機関に積極的に周知します。

図書館システム更新において、レファレンスの内容をシステム内でデータベース化する機能を追加し、全館で共有化することでレファレンス業務の効率化と利便性の向上を図ります。

(2) 利用者に応じたサービス

市民の様々なニーズに対応するため、利用者の特性に応じたきめ細かいサービスを展開します。

①乳幼児と保護者に対するサービス

- ・家庭における読書活動を推進するため、乳幼児向けの事業の充実を目指し、4か月児教室でブックスタート事業及び個別の読み聞かせの「すきすき絵本タイム」を実施します。
- ・乳幼児を対象とする絵本の読み聞かせ、手遊びなど子どもの発達段階に応じたおはなし会を実施し、乳幼児が保護者とともに読書に親しむことのできる環境の充実を図ります。

乳幼児における読書経験はその後の読書習慣の形成のためにも重要であることから、乳幼児を対象にした「えほんのひろば」と「おひざにだっこのおはなし会」「すきすき絵本タイム」を定例で開催します。

- ☆おはなし会ボランティア養成講座初級編を開催し、絵本の読み聞かせボランティアの増員とおはなし会の更なる充実を図ります。
- ・対象年齢別のおすすめ図書リスト発行や児童室でのおすすめ図書の展示等を通じて、保護者が読書に関心を持ち、親子で読書活動を楽しむための情報提供を積極的に行います。
- ・幼稚園、保育所や子育て支援施設等への出張おはなし会を行い、乳幼児の読書活動の支援を行います。

②児童・青少年に対するサービス

- ・児童・青少年が本に親しみ、読書の楽しさを体験できるように、子どもの発達段階に応じたおはなし会を実施するとともに、小中学校等への出張おはなし会を実施します

- ☆おはなし会ボランティア養成講座初級編を開催し、絵本の読み聞かせボランティアの増員とおはなし会の更なる充実を図ります。(再掲)
- ・対象年齢別のおすすめ図書リストの発行や児童室、青少年コーナー等でのおすすめ図書の紹介展示を行います。
- ・カウンターで読書相談やレファレンスに応じるほか、学校への団体貸出を通じて児童・生徒の「調べ学習」や読書活動を支援します。
- ・「こどもの読書週間記念行事」や「夏のトショロ月間」など、子どもが読書に関心を持つきっかけとなるイベントを開催します。

「こどもの読書週間記念行事」として、0歳から小学6年生を対象にスタンプラリーを実施します。「夏のトショロ月間」ではちょっぴりこわいおはなし会、ちょっぴりながいおはなし会など、定例のものに加え趣向を変えたおはなし会を実施します。

- ★袖ヶ浦高校の新入生に利用申込書を配布し、申込希望者は学校を通じて申し込めるようにすることで、新規登録者数と利用の増を目指します。(再掲)
- ・市内の中学校、高等学校と連携し、中学生や高校生の読書意欲を喚起する取組を積極的に推進します。

中学生や高校生に自身のおすすめの本を紹介する機会を提供し、また、同年代の読む本を知り読書意欲を喚起する取り組みとして、中高生向け企画「イチオシ本のPOPを書こう！」を実施します。

- ・デージー図書（P24※1参照）を活用し、学習障がい、発達障がい、知的障がい等により読みに苦手さのある子どもに対する読書支援を図ります。

図書流通システムを介してデージー図書を提供する読書支援サービスを整備するとともに、児童発達支援施設、放課後等デイサービスや特別支援学校などの施設を通じてデージー図書の貸出について周知します。

③成人に対するサービス

- ・20代から50代の市民が抱える就職・転職、起業、職業能力開発、日常の仕事、また、子育て、教育、若者の自立支援や健康・医療、福祉、法律など様々な課題について、資料の充実と活用を図ります。また、社会の変化や技術の進展に的確に対応し、特設コーナーやデータベース等の電子資料も活用し、利用者が求める資料や情報の提供を適切に行えるよう努めます。

仕事や生活など、20代から50代にかけてのいわゆる勤労世代が関心の高いテーマや社会的関心の高い時事的なテーマを取り上げ、特設コーナーやホームページ・webOPAC等を通じて紹介します。

- ・課題解決支援の一環として、勤労世代の関心の高いテーマを取り上げた講座を開催します。

④高齢者に対応するサービス

- ・介護予防・健康づくりに関する資料、趣味や社会参加などセカンドライフの充実につながる資料のほか、大活字本や朗読CDなど高齢者でも読書に親しみやすい資料の充実と活用を図ります。

⑤図書館利用に障がいのある人に対するサービス

☆心身の障がいや長期のケガ、病気等により図書館への来館が困難な市民への配送貸出し、活字による読書が困難な市民へのデージー図書の提供などの障がい者サービスを実施し、そのサービス内容の周知に努めます。

加齢による歩行困難な高齢者など、身体障がい者の認定を受けていない来館困難者が今後さらに増加することを見込み、配送貸出しに該当する要件の緩和を、サービスの利用状況を計るため、令和6年1月から令和7年3月まで試行実施します。

- ・デージー図書（P24※1参照）を活用し、学習障がい、発達障がい、知的障がい等により読みに苦手さのある子どもに対する読書支援を図ります。（再掲）

- ・電子申請による袖ヶ浦市立図書館利用申込の受付、ホームページからのレファレンスや未所蔵リクエストの申し込みの受付、電子図書館など、日常的な図書館利用が困難な利用者に対してインターネットを活用したサービスの周知に努めます。

⑥多文化サービス

- ・外国の言語や文化に対する関心を高めるため、各国事情に関する図書や外国語図書を収集し、その紹介に努めるとともに、外国語図書を活用した取組を行います。

外国語図書の利用促進のため、外国語図書コーナーの無い図書館及び公民館図書室において、外国語図書の展示・貸出の機会を設けます。また、子どもを対象に、外国語絵本を使った読み聞かせなど外国語の図書を活用した催しを行います。

- ・図書館で所蔵する多言語対応の電子絵本（P24※2参照）を活用し、日本語を母語としない子どもに対する読書支援を図ります。

（３）多様な学習機会の提供

多様化する課題に的確に対応するため、様々な関係機関と連携して資料や情報、学習機会を提供します。また、市民ボランティアと連携した事業を展開し、事業の充実を図るとともに、住民相互の交流を促進します。

- ・市内の幼稚園、小中学校及び高等学校と連携し、児童生徒のおすすめ図書や作品を図書館で紹介、展示します。

中高生向け企画「イチオシ本のPOPを書こう！」（再掲）を実施するほか、随時児童生徒の作成したおすすめ図書や作品等の展示連携に努めます。

- ・公民館、郷土博物館と事業の連携を図り、公民館事業への講師派遣や資料提供、郷土博物館と連携した資料展示などを行います。

公民館事業との連携をより一層図るため、根形・平岡公民館図書室内に公民館事業の関連図書コーナーを引き続き設置します。

☆おはなし会ボランティア養成講座初級編を開催し、絵本の読み聞かせボランティアの増員とおはなし会の更なる充実を図ります。（再掲）

- ・様々な機会を通じて、図書館ボランティアの企画事業を推進するとともに、図書館で活動するサークルに成果発表の場を提供します。
- ・読書普及事業終了後に参加者へのアンケート調査を実施し、市民の声を反応させるとともに、懇談会を実施し、参加者の交流の場を設けます。
- ・図書館が広く利用者に利活用されるために、市及び図書館の広報紙やホームページ、SNS等様々な媒体を活用して、図書館の資料や読書普及事業等に

ついて積極的な情報発信を行います。

- ※1 **デージー図書**：デージー(DAISY)は Digital Accessible Information System の略。視覚障がいなどにより活字の読みが困難な人のために製作されるデジタル図書の国際標準規格で、CD-R 1枚に約60時間の録音ができるほか、章や見出し、ページごとに聞きたい場所へ移動することができる等の機能がある。音声データと目次・見出し情報等を記録した「音声デージー」、文字や画像が含まれている「マルチメディアデージー」などがあり、専用の再生機または再生用ソフトウェアをダウンロードしたパソコンで聞くことができる。
- ※2 **多言語対応の電子絵本**：袖ヶ浦市立図書館で提供するのは「多言語絵本の会 RAINBOW」から寄贈された電子図書(CD-R)で、日本語と外国語による音声読み上げ、読んでいるところが画面上でハイライトされるなどデージー図書と同様の機能があるが、専用の再生ソフトを必要とせずパソコンで視聴できる。

報告事項（１）袖ヶ浦市立図書館協議会先進地視察研修について

1 日時

令和５年１０月１３日（金） 午前８時～午後４時

2 視察先

守谷市立守谷中央図書館（平成７年５月１３日開館）

茨城県守谷市大柏９３７番地の２

3 目的

守谷市中央図書館は人口規模において本市と近く、多様な読書普及事業を行っており、個人貸出冊数が全国的に見ても多いことから、その事例を視察し本市の今後の図書館運営の参考とする。

4 研修の内容

- ・本と雑誌の貸出制限を設けていないこと、一定額の資料費の予算措置が長い期間続いていること、休館日が月に１日のみであること（年末年始、特別整理期間等は除く）などが、個人貸出冊数について全国的に見ても多い主要因となっている。
- ・レファレンスは窓口、資料案内、利用案内、電話、文書・FAX、メールそれぞれをカウントしているとのこと。
- ・守谷市が長きに渡り、市民との協働を市の施策に掲げているため、市民参画型の図書館づくりを目指しており、図書修理、おはなし会などの分野で、ボランティアの方々が積極的に活動を行っている。
- ・東日本大震災により守谷図書館は大きな被害を受けており（図書館の天井落下など）、そのときの教訓を生かして、天井改修工事、地震発生時のハザードマップ作成などを行い、館内の危険区域の設定や避難誘導経路の確認などを行った。
- ・守谷市は平成２８年度から平成３０年度まで図書館運営を指定管理者制度で運営（運営：図書館流通センター・常陸ビル整備共同事業体）されていたが、平成３１年度から市直営に戻した。

その理由としては、館長及びスタッフの退職が相次ぎ、運営が不安定になったこと、中央図書館と学校図書館との連携に支障をきたしたこと、子ども読書活動推進計画の円滑な推進が困難になったこと、レファレンス対応力が低下したこと、選書・除籍について、スタッフ全体が経験不足だったこと、ボランティアとの関係性に温度差が生じたことなど。

ちなみに直営によるデメリットは、会計年度任用職員に係る人件費の増加、職員事務量の増加とのこと。

5 研修の写真

3階建ての守谷中央図書館 3階調査・研究フロア



2階一般フロア



1階児童フロア



1階事務室内 本の修繕は基本的にボランティアが対応



2階一般フロア 展示コーナー



2階 休憩コーナー（飲食可能、食べ物・飲み物の自販機設置あり）



2階会議室で建物概要・事業概要等について説明を受けた。



守谷図書館 外観



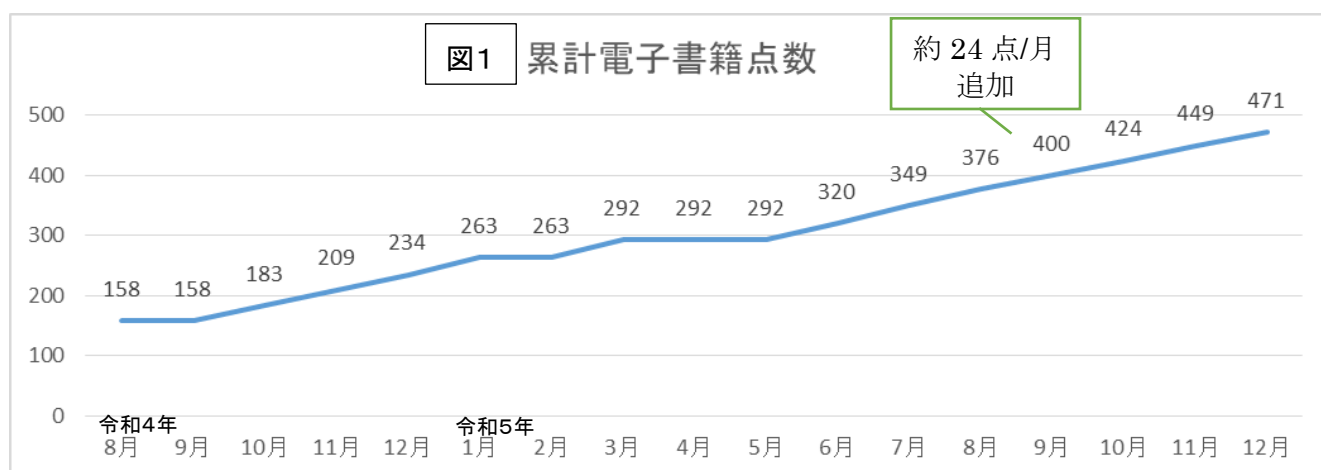
報告事項（２）袖ヶ浦市電子図書館の利用状況について

令和４年８月２日に開設した「袖ヶ浦市電子図書館」の、約１年半経過した令和６年１月１日時点での利用状況について報告します。

１ 電子書籍提供点数

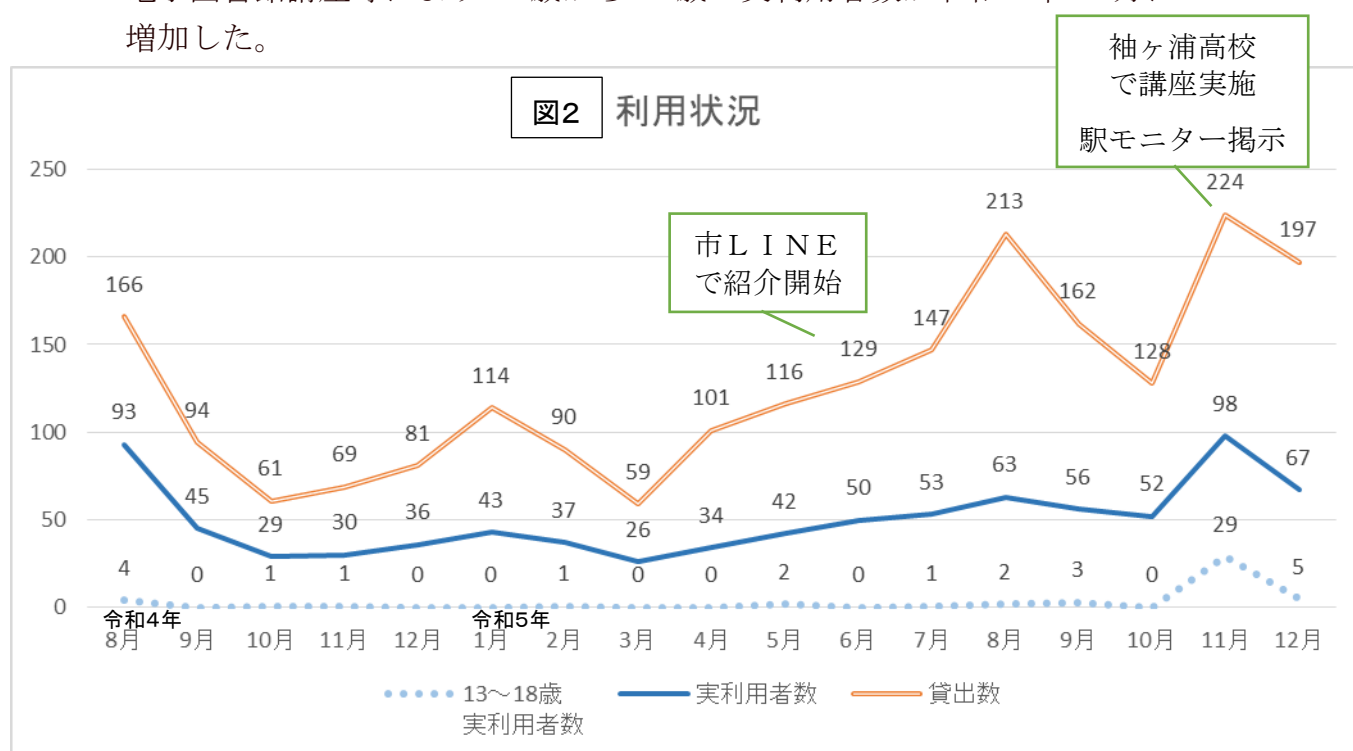
開設当初の 158 点から追加を重ね、現在は 471 点提供している。

令和５年度末で 510 点となる見込みである。



２ 利用状況の推移

- ・効果的な広報を行うと利用が増加となるが、翌月には２、３割利用が減るなど、必ずしも定着しない。
- ・平均すると増加傾向にある。
- ・電子図書館講座等により 13 歳から 18 歳の実利用者数が令和５年 11 月に増加した。



3 周知活動等



電子図書館

いつでもどこでも 話題の本を
袖ヶ浦市電子図書館へ
利用案内は、こちらから

電子図書館のページ

こんな本借りられます！

わたしの幸せな結婚 ―穴
KADOKAWA
読者の映画化作品や
アニメ化作品も！

ココだけOK!
主編の友社
赤ちゃん連れで
図書館へ行くのが
難しいけれど！

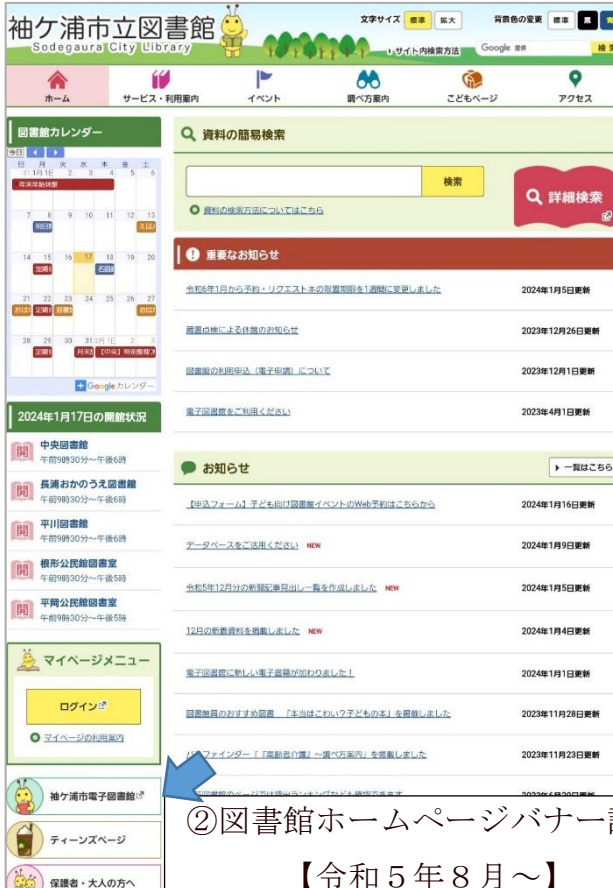
子どもとく
東京ディズニーリゾート
ナビガイド2021-2022
講談社
スマートフォンで
見られるので出かけ
もうワクワク！

大人のための整えるヨガレッスン
サントシマ 香/フレイ/
山田 いずみ 著
学研
タブレットなどで
閲覧すれば、運動時も
変えやすい！

かみかみの孤城
辻村 深月 著
ポプラ社
人気の小説が多数！
常々大盛況で読めやすい！

3万人の大学生が学んだ恋愛で
一番大切な「性」のはなし
村瀬 幸浩 著
KADOKAWA
ぐっすり寝る内容が
太さ！

①広報そでがうらに特集記事掲載
【令和5年8月】



袖ヶ浦市立図書館
Sodegaura City Library

文字サイズ 標準 拡大 背景色の変更 標準 白黒

サイト内検索方法 Google 検索

ホーム サービス・利用案内 イベント 調べ方案内 こどもページ アクセス

図書館カレンダー

資料の簡易検索

資料の検索方法についてはこちら

重要なお知らせ

令和5年1月1日から予約・リクエスト本の取替期限を1週間に変更しました 2024年1月5日更新

児童向けによる休館のお知らせ 2023年12月26日更新

図書館の休館予定（電子図書館）について 2023年12月1日更新

電子図書館をご利用ください 2023年4月1日更新

お知らせ

「申込フォーム」子ども向け図書館イベントのWeb予約はこちらから 2024年1月16日更新

データベースをご活用ください NEW 2024年1月9日更新

令和5年12月分の新聞記事見出し一覧を作成しました NEW 2024年1月5日更新

12月の新着資料を掲載しました NEW 2024年1月4日更新

電子図書館に新しい電子書籍が追加されました！ 2024年1月1日更新

図書館員のおやすみ期間 「本日はおやすみ」を掲載しました 2023年11月28日更新

「パブリックインデックス」掲載資料一覧ページを公開しました 2023年11月23日更新

マイページメニュー

ログイン

マイページの作成方法

袖ヶ浦市電子図書館？

ティーンズページ

保護者・大人の方へ

②図書館ホームページバナー設置
【令和5年8月～】



電車内や自宅でも
いつでも どこでも 話題の本を
袖ヶ浦市電子図書館へ
利用案内は、こちらから

袖ヶ浦市からののお知らせ

③袖ヶ浦駅・長浦駅・市役所設置の
市政情報モニターで広報
【令和5年11月】



参加したい2・3年生は
三神先生まで

袖ヶ浦市
電子図書館
つかってみた
11月29日(水)
15:50-16:50

袖ヶ浦市立中央図書館の
職員がおじゃまします

ようこそ、袖ヶ浦市電子図書館へ
利用案内は、こちらから

持ち物①
スマホ
or
タブレット

持ち物②
袖ヶ浦市立図書館資料利用券
→まだ持っていない人
or袖ヶ浦市外利用券の人は
学校経由で利用申込書を書いて
11/10(金)までに図書室へ

袖高図書室にて

④袖ヶ浦高校にて電子図書館講座
【令和5年11月】

図書館だより

号外(中高生向け) 令和5年12月
袖ヶ浦市立中央図書館 〒299-0262 袖ヶ浦市坂戸市場1393番地2 TEL0438-63-4646



袖ヶ浦市電子図書館 使ってみよう!

袖ヶ浦市内の学校に通学されている皆さんは電子図書館サービスを利用できることを知っていますか? インターネット環境があれば、図書館に来館しなくても、本(電子書籍)を借りたり、返したりできるので、勉強や部活動で忙しい皆さんにおススメです。ぜひ一度アクセスし、気になる本を借りてみてください。

毎月1日に新しい本が追加されます。人気の本は予約待ちが多くなりますので、早めのチェックをおすすめします。

※資料利用券を持っていないと使えません。資料利用券を作りたい場合は市内に住んでいる方は保険証、市内の学校に通学されている方は学生証持参で図書館のカウンターで手続きをしてください。

ID: 資料利用券の番号(数字9桁)
パスワード: 初めてのログインは仮パスワードでログインし、任意のパスワードに変更してください。
※仮パスワードは図書館に登録された住所の郵便番号7桁です

①電子図書館へ



②本を探す

ジャンルやキーワードから検索できます。

③本を借りる

本が決まったら「借りる」ボタンを押すだけで、すぐ読めるようになります。他の人が借りている本は予約できます。

④本を返す

読み終わったら「返す」ボタンを押すだけで返却できます。借りてから2週間たつと自動的に返却されます。

イチオシ本のPOPを書こう! 作品を紹介します。

図書館では秋のトショロ月間中に「イチオシ本のPOPを書こう!」と題して、おすすめする本のPOPを中高生に向けて募集しています。どの作品も思いの詰まった力作揃いですが、過去の応募作品の中からいくつかの作品をご紹介します。



⑤袖ヶ浦高校、市内中学校生徒に図書館だより号外で広報
【令和5年12月】

HAPPY NEW YEAR

袖ヶ浦市電子図書館に
新刊が20点入りました
新年もぜひご利用ください!



「夜明けのほざま」
野田そのこ ポプラ社



「11の秘密」
大崎相ほか ポプラ社



「イエナカ菜園」
鈴木あさみ 日東書院

⑥袖ヶ浦市公式LINEで広報
【新刊公開時、年末年始等】

いつでも どこでも 話題の本を 袖ヶ浦市電子図書館

袖ヶ浦市内在住・在勤・在学で
資料利用券をお持ちの方は
すぐにご利用いただけます!



使わなきゃ
もったいない

2週間で
自動返却
返し忘れの
心配なし!

袖ヶ浦市電子図書館

で検索 または 袖ヶ浦市電子図書館
QRコードから

厳選した
コンテンツを
追加中!

文字サイズ
変更可能
読みやすい
大きさで

⑦利用券の電子申請受付開始
電子図書館と併せて
ポスターでPR
【令和5年12月】



袖ヶ浦市立図書館
利用申込電子申請
【袖ヶ浦市民限定】

市内在住で利用券を持っていない方

袖ヶ浦市内在住で資料利用券をお持ちでなく図書館への来館予定がない方は、電子申請で袖ヶ浦市立図書館利用申込をして、来館せずに電子図書館を利用できます。

電子申請には以下すべてが必要です。
・申請者のマイナンバーカードと署名用パスワード
・電子認証アプリ(xID)をインストールしたモバイル端末
・LoGoフォームにログイン申請するためのアカウント

【問い合わせ】
袖ヶ浦市立
中央図書館
0438-63-4646

4 人気のコンテンツ

令和5年10月1日以降の貸出回数が5回以上のコンテンツをみると、小説は映画化・アニメ化されたものや、知名度の高い文芸書が多く貸出されている。

実用書は、所蔵割合としては小説より低いものの、全般によく利用されている。画像やイラストを多用した読みやすいものや、生活のヒントとなるようなものが多岐のジャンルに渡り貸出されている。

いずれも、新刊で入ったものの貸出回数が多くなる傾向がみられる。

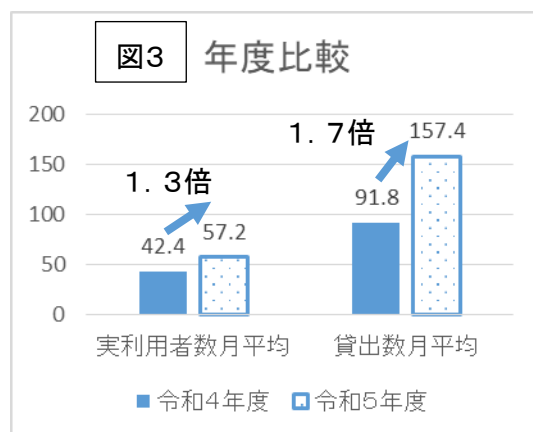
表1 電子書籍貸出回数 上位 20 タイトル(令和5年10月1日以降) ※網掛けは小説

順位	貸出回数	コンテンツタイトル	著者名	公開年月 ★はR4年度公開
1	9	硝子の塔の殺人 電子書籍版	知念実希人	R5年10月
2	8	わたしの幸せな結婚 1 (富士見L文庫)	顎木あくみ	R5年3月★
	8	文房具屋さん大賞 2023 最新文房具から、有名店のプロが厳選!No.1が決定!		R5年9月
4	7	図書館のお夜食	原田ひ香	R5年9月
	7	宮廷のまじない師 2 妖しき幽鬼と星夜の奇跡 (ポプラ文庫ピュアフル)	顎木あくみ	R5年11月
	7	「やせる本」100冊のダイエットのコツを1冊にまとめてみた。		R5年8月
	7	おりたたみ自転車と旅しています		R5年9月
	7	メメンとモリ		R5年11月
	7	遅く帰った日の晩ごはん		R4年8月★
10	6	おいしい旅 思い出編 (角川文庫)	秋川滝美 他	R5年9月
	6	わたしの幸せな結婚 2 (富士見L文庫)	顎木あくみ	R5年3月★
	6	わたしの幸せな結婚 6 (富士見L文庫)	顎木あくみ	R5年6月
	6	タクジョ! 電子書籍版 (実業之日本社文庫)	小野寺史宜	R5年10月
	6	ティアムーン帝国物語 1	餅月望	R5年9月
	6	仮面病棟	知念実希人	R5年12月
	6	宮廷のまじない師 (ポプラ文庫ピュアフル)	顎木あくみ	R5年11月
	6	工場のおばちゃん 電子書籍版 (実業之日本社文庫)	山口恵以子	R5年10月
	6	北欧こじらせ日記 電子版		R5年3月★
	6	北欧の心地よい暮らしと55の小さな幸せ		R5年10月
	6	プチうつ症候群の正しい理解と知識		R5年11月

5 年度比較と今後の方針

積極的な周知及びコンテンツの数と質の充実を図った結果、電子図書館利用者数及び貸出数に大幅な増加があった。

今後も周知活動に努め、現状では電子図書館の利用が少ない中高生にも魅力的なコンテンツを所蔵していることをアピールし、幅広い年齢層に利用されることを目指す。



報告事項（３）令和５年度夏・秋のトショロ月間の実施結果について

■ 夏のトショロ月間「今年の夏はトショロおし！」

夏休み期間中に、子どもの知的好奇心を刺激する講座や親子で読書を楽しむ様々な催しを「夏のトショロ月間」と題して１ヶ月に集約して行いました。おはなし会など一部の集会事業は事前予約制で実施しました。

今年度は、コロナ禍で長らく見合わせていた「かみのおはなやさん」を３年半ぶりに開催した他、社会教育推進員企画「英語でおはなし会！」など様々な年齢に応じて趣向を凝らしたイベントを実施しました。また、平川図書館、根形・平岡公民館図書室では来館した時に誰でも気軽に参加できる企画として、それぞれ「お題の本 DE BINGO!!」「としょかんでなつのうみをつくろう！」等を行いました。

７月１４日（金）～８月１５日（火） 参加人数合計 ９６６人

（令和４年度の参加人数合計 １,０３３人）

１．参加企画

①【会場】全館・全図書室

回	日時	事業名	内容	参加人数
１	募集：７月１４日（金） ～８月１５日（火） 掲示：～８月３０日（水）	おしえて！きみの すきな本	パネルに、子どもにおすすめ の本を書いてもらった用紙を 掲示。	中央 １０７人 長浦 １３８人 平川 １２人 根形 ９人 平岡 ２１人 計 ２８７人
２	７月１日（土） ～８月３０日（水）	宿題おたすけコー ナー	夏休みの宿題に役立つ工作、調 べ学習、読書感想文についての 本を集めたコーナーを設置。	

「おしえて！きみのすきな本」は、本年度は館ごとに用紙を工夫して実施しました。中央-シャボン玉風の丸い用紙（色は白）、長浦-従来用の紙とほぼ同デザイン（長方形）、平川-ぬりえ付き用紙（長方形）、根形・平岡-シャボン玉風の丸い用紙（色は数種類）。参加人数は、平川では冷房が故障していたことから２７人から１２人に減りましたが、中央は６０人から１０７人、長浦は９８人から１３８人と大幅に増え、全体として ７６人増加しました。全館で行える催しなので、次年度以降も参加意欲を喚起するよう工夫し、継続して行っていききたいと思います。

「宿題おたすけコーナー」は、例年宿題に早めに取り組む子どもが多く、夏休み前から設置して欲しいとの要望に答え、昨年度同様 ７月 １日からの設置としたところ、多くの親子連れの利用があり、特に読書感想文関連のコーナーが好評でした。



②〔会場〕 平川図書館

回	日時	事業名	内容	参加人数
1	募集：7月14日(金) ～8月15日(火)	お題の本 DE B I N G O ! !	本の内容のビンゴゲーム。借りた本の内容がビンゴのマスに書いてあったら、図書の返却時にスタンプを押す。(スタンプは1日3つまで) 一列そろったら記念品をプレゼント。	台紙配布数 111人 ポストカード 103枚

ビンゴの台紙を4種類、ポストカードは新作を含む9種類を準備しました。平川図書館は空調の不具合により館内が非常に暑かったこともあり、昨年度より参加者は減ってしまいましたが、参加した子どもたちは積極的にビンゴの台紙を手に取り、いろいろな本を借りて参加しました。昨年度同様に洋書絵本もお題にし、夏のトショロ月間期間中は平川図書館でも洋書絵本の貸出を行いました。



③〔会場〕 根形公民館図書室・平岡公民館図書室

回	日時	事業名	内容	参加人数
1	7月14日(金) ～8月15日(火)	としょかんで なつのうみを つくろう!	図書室での海や魚の絵本探しと、ボードに魚の絵や折り紙を貼る夏の海づくりを実施。参加者には記念品を贈呈。ひとり1日1回参加可能。	根形 28人 平岡 16人 計 44人



根形公民館図書室

としょかんでなつのうみをつくろう!

根形・平岡公民館図書室を盛り上げるために、専任職員の考案した企画を実施しました。親子連れの参加が主でしたが、子どもが友達同士で参加する姿も見受けられました。



平岡公民館図書室

2. 集会事業

① [会場] 中央図書館

回	日時	事業名	講師等	参加人数
1	7月25日(火) 10:20~11:00 11:10~11:50	ちょっぴりながいおはなし会	ボランティア、職員	(2回) 30人
2	8月1日(火) 10:30~11:10 11:20~12:00	英語でおはなし会!	社会教育推進員、 職員	(2回) 63人
3	8月3日(木) 10:30~10:50 11:15~11:35	おひざにだっこのおはなし会	ボランティア、職員	(2回) 26人
4	8月6日(日) 10:30~11:00 11:15~11:45	なつやすみとしょかんであそぼう① 袖高とコラボ! 親子いっしょのおは なし会	袖ヶ浦高校図書委 員、ボランティア、 職員	(2回) 48人
5	8月6日(日) 10:30~11:45	なつやすみとしょかんであそぼう② かみのおはなやさん	ボランティア	29人
6	8月10日(木) 10:30~11:00 11:15~11:45	えほんのひろば	ボランティア、職員	(2回) 25人

「ちょっぴりながいおはなし会」は、小学3年生から大人を対象として開催し、素話4話をたっぷりお楽しみいただきました。普段のおはなし会とは違い小学校高学年の参加も多く、「おもしろかったのでまた開催してほしい」との声が多数ありました。

「えほんのひろば」は、3歳以上を対象とした読み聞かせでしたが、夏休み中の小学生の参加があるなどもあり、大変盛況でした。

「おひざにだっこのおはなし会」は、0歳児からの乳幼児と保護者を対象に開催し、早々に2回とも満席の予約があり、期待の高さがうかがえました。当日は0歳から2歳までの参加があり、とても反応が良く楽しいイベントとなりました。

「英語でおはなし会!」は、2回とも満席の事前予約があり英語の関心が高いことがうかがえました。小学校中学年・高学年の参加も多数ありました。日本語と英語の両方で読み聞かせと手遊びを行ったため、内容を楽しみつつ「英語ではこういうふうに言うのか」という声も聞かれました。手製の世界地図を掲示し、飛行機に乗ったトショロを該当の国に移動させてから読み聞かせ、絵本で世界を旅するというコンセプトで行いました。部屋に置いた世界各国の絵本や外国語図書が多数借りられました。





「かみのおなはやさん」は「袖高とコラボ！親子いっしょのおはなし会」と合わせて開催し、途切れることなく人が訪れ、たくさんの親子に喜ばれました。

②【会場】長浦おかのうえ図書館

回	日時	事業名	講師等	参加人数
1	7月21日(金) 10:30～11:00 11:15～11:45	えほんのひろば	ボランティア、職員	(2回) 21人
2	8月4日(金) 10:00～10:30 11:20～11:50	ちょっぴりこわいおはなし会	ボランティア、職員	(2回) 59人
3	8月4日(金) 10:40～11:05	子ども映画会「ころわんとしろいくも・かくれんぼころわん」	ボランティア、職員	59人



3歳以上を対象とした「えほんのひろば」は、2回とも定員に達し盛況でした。

「ちょっぴりこわいおはなし会」は学童保育所の児童の参加があったことから定員を増やしましたが、2回行い盛況でした。対象を、1回目が3歳から小学2年生の子どもとその保護者、2回目を小学3年生から小学6年生とその保護者に分けて行いました。

子どもたちは少し緊張しつつ、ちょっぴりこわいおはなしと絵本を堪能し、最後には満足した表情で帰っていく姿が見受けられました。

同日開催で行った「子ども映画会」も小さい子どもたちも楽しめる「ころわん」のアニメーションから、2作品を上映しました。おはなし会と映画会両方楽しんだ参加者が多かったようです。



③ [会場] 平川図書館

回	日時	事業名	講師等	参加人数
1	7月23日(日) 10:15~10:45 11:25~11:55	えほんのひろば	ボランティア、職員	(2回) 26人
2	7月23日(日) 10:50~11:20	子ども映画会「うっかりペネロペ ともだちいっぱい編」	職員	27人

3歳以上の子どもを対象とした「えほんのひろば」は予約の段階から盛況で、同日開催の「子ども映画会」とともに、多くの親子連れが楽しんでいました。

④ [会場] 根形公民館図書室

回	日時	事業名	講師等	参加人数
1	7月19日(水) 10:00~12:00	すきすき絵本タイム	ボランティア、職員	6人

感染対策として、30分毎に2枠(全8枠)を設定し、事前予約制とし、参加者が入れ替わるごとにふれあい読書コーナーの消毒を行いました。参加した親子は、お子さんが自分で好きな絵本を選んでボランティアに読んでもらい、ゆったりと楽しんでいました。

3. 定例おはなし会・図書館でブックスタート

[会場] 中央図書館・長浦おかのうえ図書館・平川図書館

会場	期日	事業名	対象	講師等	参加人数
中央 図書館	7月16日(日) 8月15日(火) 10:30~11:30	図書館で ブックスタート	市内在住の1歳 未満の子どもと 保護者	職員 ボランティア	(2回) 14人
	7月15日(土) 14:00~14:30	定例おはなし会	4歳から 小学6年生	ボランティア	(1回) 17人
長浦おか のうえ 図書館	7月30日(日) 14:00~14:30 14:45~15:15	定例おはなし会	4歳から 小学6年生	ボランティア	(2回) 15人
合			計	(5回)	46人

定例おはなし会・図書館でブックスタートともに、夏のトショロ月間中はいつも以上に多くの参加があり、夏らしい絵本の読み聞かせを楽しみました。



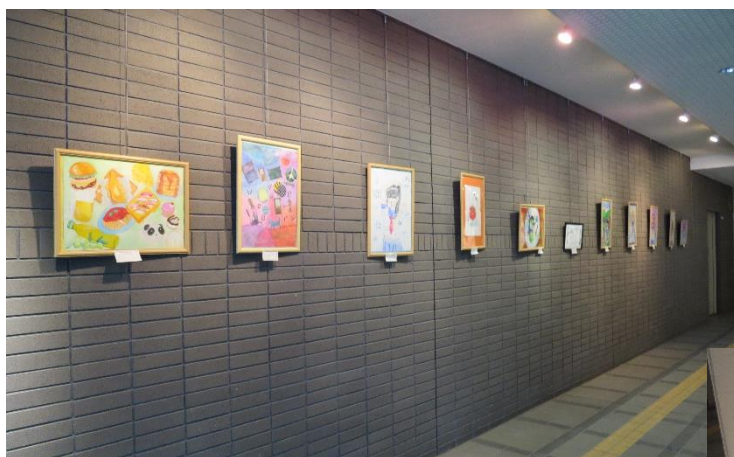
4. 展示等 【会場】 中央図書館・長浦おかのうえ図書館

回	会場	日時	事業名	講師等	点数
1	中央図書館 児童室	7月14日(金) ～8月30日(水)	昭和中学校図書委員会 おすすめ図書展示	昭和中学校 図書委員	30点 (飾りつけ5人)
2	長浦おかのうえ 図書館 市民ギャラリー	8月4日(金)～ 8月18日(金)	蔵波中学校美術部 作品展示	蔵波中学校 美術部	24点

「昭和中学校図書委員会おすすめ図書展示」では、展示した図書は期間中、随時貸し出されていて大変人気でした。児童室も飾りつけにより華やかになりました。



昭和中学校図書委員会
おすすめ図書展示



長浦おかのうえ図書館の「蔵波中学校美術部展示」は、会場が市民ギャラリーだったことと、子どもの夏休み期間だったことから、広く来館者の目に触れることができました。



蔵波中学校美術部
作品展示

■ 秋のトショロ月間「読書の秋！そうだ、図書館へ行こう！」

秋の読書週間（10月27日から11月9日）を含む1か月間にわたって市内の図書館・公民館図書室で開催する「秋のトショロ月間」は、平成26年度より開始した事業です。

大人向けには、「文芸講座」や、「本のおたのしみ袋」などを実施したほか、子ども向けには、「トショロのまちがいさがし」や「青空かみしばい劇場」などを実施し、読書や図書館に興味をもってもらえる機会となりました。

その他にも市内小中高等学校と連携した作品展示や、図書館で活動するサークルの発表などを行い、市民と図書館をつなげる事業となりました。

10月21日（土）～11月19日（日）参加人数合計 2,422人
（令和4年度の参加人数合計 2,432人）

1. 参加企画

① [会場] 全館・全図書室

日 時	事業名	内 容	参加人数
10月21日（土） ～ 11月19日（日）	秋の読書 マラソン大会	目標値の30冊を目指し、本を借りてもらう。期間内に借りた冊数に応じて、全体および年代別の順位が確認できる。	

「秋の読書マラソン大会」は、電算上で目標値を10冊・20冊・30冊と3段階設定し、期間中に借りた資料（電子書籍を除く）の冊数による順位が出るイベントです。WebOPAC（インターネット上の蔵書検索システム）やOPAC（図書館内の利用者用蔵書検索端末）のマイページにログインすると、冊数に準じて金銀銅のメダルが表示されるほか、期間中に自分が借りた冊数と順位が分かることから、積極的に本を借りるなど読書意欲の喚起につながっています。

② [会場] 中央図書館・平川図書館・根形公民館図書室・平岡公民館図書室

日 時	事業名	内 容	参加人数
10月21日（土） ～ 11月19日（日）	トショロの まちがいさがし	2つのトショロの絵のちがうところをみつけて、答えあわせをしてトショロシールをプレゼントする。	平川 192人 根形 90人 平岡 102人 計 384人
10月29日（日）	トショロの まちがいさがし	2つのトショロの絵のちがうところをみつけて、答えあわせをしてトショロシールをプレゼントする。	中央 28人
合 計			412人

平川図書館、根形・平岡公民館図書室の「トショロのまちがいさがし」はテーマごとに台紙を4種類、景品の「トショロシール」を12種類用意し、幼児から小学校高学年まで、幅広い年齢層が楽しみました。期間中繰り返し参加する姿も見られるなど、来館契機を創出できました。まちがいさがしのテーマにあわせておすすめの本の紹介・展示を行い、一部ではあるものの本の貸出に結びつけることができました。

中央図書館でも10月29日の中庭イベント時に「トショロのまちがいさがし」を1テーマのみ実施し、平川・根形・平岡で11月19日まで実施していることをPRし、大変好評でした。



2. 集会事業

① [会場] 中央図書館

回	日 時	事 業 名	講 師 等	参加人数
1	10月29日(日) ①13:30~14:00 ②14:15~14:45	中庭イベント 「青空かみしばい劇場」	社会教育推進員	(2回) 46人
2	10月29日(日) ①13:30~14:00 ②14:15~14:45	中庭イベント 「ハロウィン工作教室」	社会教育推進員	(2回) 52人
3	11月1日(水) 14:00~15:30	文芸講座オープニング講演 「吉村昭 作家として、 夫として、父として」	作家・俳人 谷口 桂子	45人
4	11月8日(水) 11月15日(水) 11月22日(水) 11月29日(水) 14:00~15:30	文芸講座連続講座 「吉村昭を読む～現代文学 におけるその役割」	吉村昭文学資料館 館長 桑原 文明	(4回) 111人
5	11月29日(水) 15:40~16:10	文芸講座連続講座 講師を囲んでの懇談会	吉村昭文学資料館 館長 桑原 文明	10人
合 計				(10回) 264名

中庭イベントは社会教育推進員による企画で、紙芝居やパネルシアター、手遊びなどを行う「青空かみしばい劇場」と、ハロウィンの帽子や小物を作る「ハロウィン工作教室」を行いました。ハロウィン工作教室は、今年度より新たに企画しました。保存期間を過ぎた英字新聞を利用した帽子等2種類作成しました。また、会場の内と外にハロウィン装飾をし、とても好評でした。両イベントとも大人も子どもも楽しめるイベントとなりました。



文芸講座は現代作家・吉村昭をテーマに、内容を充実させるためオープニング講演と全4回の連続講座という2本立てで開催しました。最終回終了後には、コロナ禍で令和2年度以降実施していなかった希望者と講師による懇談会も行い、より理解が深まるよう努めました。



②【会場】長浦おかのうえ図書館

回	日 時	事 業 名	講 師 等	参加人数
1	10月21日(土) 14:00~15:45	講座「そろそろ始める 団塊ジュニアのための 老後資金計画」	千葉県金融広報委員会 金融広報アドバイザー 田中 信之	47人
2	10月28日(土) 13:30~15:30	枕草子から絵本まで	図書館登録サークル 朗読サークル「萌」	30人
3	11月3日(金・祝) 13:30~14:30	大人のためのお話し会	図書館登録サークル むかしむかしの会	32人
4	11月11日(土) 展示 10:00~12:30 人形劇 ①11:05~11:20 ②11:50~12:05	おかのうえ人形劇団と あそぼう	図書館登録サークル おかのうえ人形劇団	59人
合 計				(4回) 168人

講座「そろそろ始める 団塊ジュニアのための老後資金計画」は、千葉県金融広報委員会から金融広報アドバイザーを講師として招き開催しました。昨年度までは「高齢者向け講座」を行っていましたが、今年度から「成人向け講座」に変更し、現役世代向けに講座を行うことになりました。そのため、対象を現在49～52歳の団塊ジュニア世代に絞り、土曜日に開催し参加者の70%を40～50代の現役世代が占めました。参加者からはわかりやすかったという多数の声をいただき、有意義な講座となりました。



朗読サークル「萌」による朗読コンサート「枕草子から絵本まで」は、「時は流れて…心にしみるあれこれ」をテーマに、「枕草子」や「高瀬舟」、「スーホーの白い馬」などの作品の朗読を終始落ち着いた雰囲気で行い、参加者は語り手が紡ぎ出す物語の世界に浸っていました。

むかしむかしの会による「大人のためのお話し会」は、なごやかなムードの中で進行し、普段子どもたちに語っている昔話や創作のお話を語りました。毎年恒例のイベントとして定着し、大人が聞いても楽しいお話は、おはなしに関心を持ってもらえる

良い機会になりました。

おかのうえ人形劇団による「おかのうえ人形劇団とあそぼう」は、「えほんのひろば」とのコラボイベントとして実施し、普段人形劇で使っている人形の展示と短いショートストーリーの人形劇「いっぴきたりない」を行い、会場内は多くの参加者で賑わっていました。



③【会場】根形公民館図書室、平岡公民館図書室

会 場	日 時	事 業 名	講 師 等	参加人数
平岡公民館 図書室	11月4日（土） 10：00～12：00	すきすき絵本 タイム	職員、ボランティア	31人
根形公民館 図書室	11月5日（日） 10：00～12：00	すきすき絵本 タイム	職員、ボランティア	35人
合 計			(2回) 66人	

「すきすき絵本タイム」は0歳から6歳の子どもとその保護者を対象に、ふれあい読書コーナーで開催しました。電車が好きな子には電車の絵本、動物が好きな子には動物の絵本、保護者からのリクエストの絵本など、ボランティアが1組ずつ絵本の読み聞かせを行い、親子ゆっくり過ごしてもらえました。また、大型絵本も好評でした。



3. 展示等

①【会場】中央図書館

回	日 時	事 業 名	内 容	展示数等
1	9月30日（土） ～ 11月29日（水）	図書館登録サークルの作品展示	9月30日（土）～10月9日（月・祝）やまゆり俳句会展示	13点 (13人)
			10月20日（金）～11月9日（木）宇麻具多短歌会展示	12点 (5人)
			11月10日（金）～11月29日（水）短歌そでがうら展示	16点 (9人)
2	10月21日（土） ～ 11月17日（日）	奈良輪小学校3年生「生き物ブック」展示	奈良輪小学校3年生が「生き物クイズ」を作成。クラスごとに展示	40点 (40人)
合 計			(81点) 67人	

図書館登録サークルの作品展示には「やまゆり俳句会」、「宇麻具多短歌会」、「短歌そでがうら」の3サークルが参加しました。どのサークルの作品も素晴らしく、展示を見て、サークルの活動を見学したいという申し出もあり、サークル活動の活性化に繋がりました。また、展示付近には、図書館で所蔵している俳句や短歌の本もあわせて紹介しました。



奈良輪小学校3年生「生き物ブック」展示は、生き物の特徴を探して調べ、他の生き物と比べてわかったことをメモに書きました。メモと「調べたきっかけ」「調べたこと」「まとめ」の順に並べて組み立て表を作りました。親子等で展示をじっくりと眺めていく姿も見られ、様々な方々に楽しんでももらえました。



②【会場】長浦おかのうえ図書館

日 時	事 業 名	内 容	貸出数等
10月21日(土) ～11月19日(日)	こんな本もあったんだ！？ちょっとマニアックな本たち	いつかは役に立つかもしれないアレの作り方の本、ちょっとマニアな図鑑など、図書館に隠れている本たちを司書が紹介する。	535冊展示 うち485冊貸出 (485人)

令和2年度以来3年ぶりに秋のトショロ月間の定番の**展示・貸出テーマ「マニアックな本」**を行いました。貸出数は昨年度(145冊)から大幅に増加し、485冊となりました。返却カウンターの近くに展示したため大人から子どもまで立ち止まって本を見ている利用者の姿が多数見られ、多くの人の目に触れることで、図書館に様々な本があることを知ってもらうことができました。



③【会場】平川図書館

日 時	事 業 名	内 容	貸出数等
11月18日(土) ～ 12月17日(日)	中川小学校5年生「マイベスト俳句集」展示	中川小学校5年生が「マイベスト俳句集」を作成し展示	34点 (34人)

中川小学校5年生がたくさんの俳句を視写・音読し最後に自分だけのオリジナルの俳句を作り「**マイベスト俳句集**」としてまとめました。「季節の俳句集」や「動物の俳句集」など様々なテーマの俳句集があり、平川公民館まつりに参加した親子などが作品を手にとってじっくりと鑑賞していました。



④ [会場] 平川図書館・根形公民館図書室・平岡公民館図書室

日 時	事 業 名	内 容	貸出数等
10月21日(土) ～11月19日(日)	《大人向け》 本の おたのしみ袋	テーマごとに関連図書3冊を選んで紙袋に入れて、中身を見ずに借りてもらう。	平川 52 袋貸出 根形 17 袋貸出 平岡 11 袋貸出 計 80 袋貸出 ＜240 冊貸出＞ (80 人)

「本のおたのしみ袋」は秋のトショロ月間終了時には開催館ですべての袋が貸し出されました。特に平川図書館は貸出が多く好評でした。おたのしみ袋の中の本は貸出館以外に所蔵の本を選定しているため、ふだん利用している館以外の本が入っていることから毎年楽しみにしている利用者もいるようです。



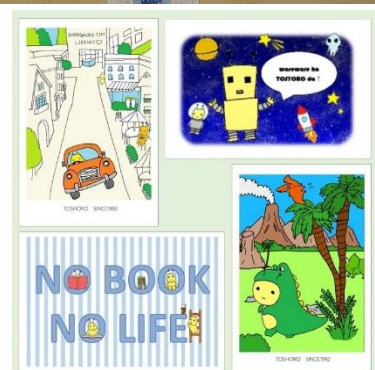
⑤ [会場] 全館・全図書室

日 時	事 業 名	内 容	展示数
【募集期間】 9月14日(木)～ 11月19日(日) 【展示期間】 10月21日(土)～ 12月27日(水)	イチオシ本の POPを書こう！	中学生、高校生が作成した 「イチオシ本のPOP」の 展示	中央 461 点 長浦 81 点 平川 24 点 根形 41 点 平岡 5 点 計 612 点 (612 人)

中学生・高校生を対象に、おすすめ本のPOPを書いて図書館に提出するとトショロのポストカードがもらえる「イチオシ本のPOPを書こう！」を実施しました。3年目となる今回は、昨年度に引き続き、昭和中学校、長浦中学校、平川中学校、根形中学校、袖ヶ浦高等学校 また、今年度新たに中川小学校、平岡小学校の5年生からの参加がありました。丁寧な作品が集まり大変華やかな展示になりました。



参加者からは「POPがハガキサイズなので取り組みやすく、やりがいがあった」、「4種類あるトショロポストカードを楽しく選んだ」などの声がありました。中高生の読書や図書館来館の契機を創出し、同世代が読む本を知ることによって読みたい本の幅が広がる有意義なイベントとなりました。



会 場	上 映 日	上 映 作 品	参加人数
中央図書館	10月26日（木） 10：00～12：10	秋の名画鑑賞会 「ベイビー・ブローカー」	45人
	11月16日（木） 10：00～12：10	秋の名画鑑賞会 「すばらしき世界」	51人
長浦おかのうち 図書館	11月8日（水） 10：00～11：35	秋の名画鑑賞会 「最高の人生のつくり方」	53人
合 計			（3回）149人

令和5年度秋のショウブ賞

秋の名画鑑賞会

鑑賞作品はすべて無料！
鑑賞料が不要です。ご家族連れでもご利用いただけます。

秋分

ベイビー・ブロッカー

10月26日(木)
午時 12時・12時15分
第1回映画祭の開催地で活躍する若く優秀な女優の競演がポイントです。ぜひご覧ください。
(2022年度上映) 未上映！

監督：高橋博史
出演：ソフィ・ゾーセ、コウ・エンリョウ ほか
上映時間：100分
上映料：043-20-30-6466

秋分には秋の名画鑑賞会にあわせて
映画祭のポスターも作成しました。
ぜひご覧ください。

冬

最高の人生のつくり方

11月8日(木) 午時 10時・11時35分
書き立てした物語(脚本)が面白く、演技も素晴らしいこととあって、人生の哲学が事実にあてはまる。実用性(ストーリー)のいい映画だ。ぜひご覧ください。
(2016年制作) 未上映！

監督：クリストフ・ルンズ
出演：マシュー・マコノキー、デブラ・アン・ケートン ほか
上映時間：107分
上映料：043-20-30-6466

すばらしき世界

秋分

11月16日(木) 午時 10時・12時15分
人生の歩みと希望と感動が満ち溢れた人生の物語。ぜひご覧ください。

(2023年制作) 未上映！

監督：新藤兼人
出演：佐々木啓祐、長谷川裕見子、津田寛子 ほか
上映時間：100分
上映料：043-20-30-6466

会 場	期 日	事 業 名	対 象	講 師 等	参加 人数
中央 図書館	10 月 24 日 (火) ①10 : 30～10 : 50 ②11 : 15～11 : 35	おひざに だっこの おはなし会	0 歳から 3 歳の 子どもとその保 護者	職員、 ボランテ ィア	(2 回) 24 名
	11 月 18 日 (土) 10 : 30～11 : 45	図書館で ブック スタート	市内在住の 1 歳 未満の子どもと 保護者	職員、 ボランテ ィア	15 名
長浦おか のうえ図 書館	11 月 11 日 (土) ①10 : 30～11 : 00 ②11 : 15～11 : 45	えほんの ひろば	3 歳から小学生 とその保護者	職員、 ボランテ ィア	(2 回) 17 名
平川 図書館	10 月 22 日 (日) ①14 : 00～14 : 30 ②14 : 45～15 : 15	おはなし会	4 歳から小学生 とその保護者	職員、 ボランテ ィア	(2 回) 10 名
	11 月 19 日 (日) ①10 : 30～11 : 00 ②11 : 15～11 : 45	えほんの ひろば	3 歳から小学生 とその保護者	職員、 ボランテ ィア	(2 回) 19 名
合 計					(9 回) 85 名

図書館でブックスタートは、土曜日開催のため両親の参加が3組ありました。ボランティアによる絵本の読み聞かせとブックスタートパックをプレゼントし、ゆったりと楽しいひと時を過ごしてもらえました。